

1 目 的

- (1) 検査問題の妥当性を検証し、今後の内容・形式等の改善に役立てる。
- (2) 受験者の学習成果の実態を明らかにし、県下中学校の学習指導上の課題を考察し、改善の指針を示す。

2 学力検査の実施教科

国語、社会、数学、理科、英語

3 分析結果

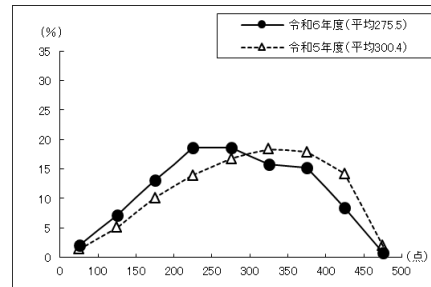
(1) 平均点

教科	国語	社会	数学	理科	英語	総点	受験者数
平均	59.0 (70.9)	59.6 (68.0)	49.9 (45.6)	56.6 (58.8)	50.4 (57.1)	275.5 (300.4)	13,149人 (13,704人)
最高	96 (99)	100 (100)	100 (100)	100 (100)	100 (100)	479 (490)	
最低	0 (2)	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (33)	
中央値	61 (75)	61 (71)	51 (46)	57 (60)	46 (58)	274 (308)	
最頻値	63 (82)	82 (86)	54 (48)	57 (73)	23 (93)	220 (325)	
合格者平均	59.0 (70.9)	59.4 (67.7)	49.8 (45.6)	56.5 (58.7)	50.1 (56.9)	274.8 (299.8)	

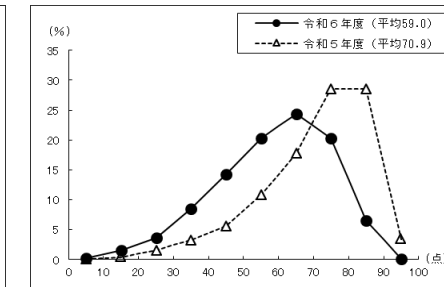
※ 数値は、全日制課程受験者の値
 ※ ()は昨年度の値

(2) 総点及び各教科の得点分布

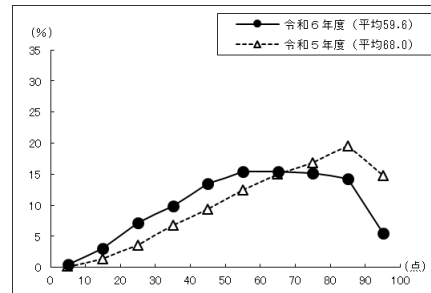
総点



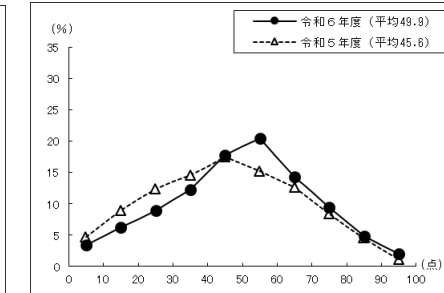
国語



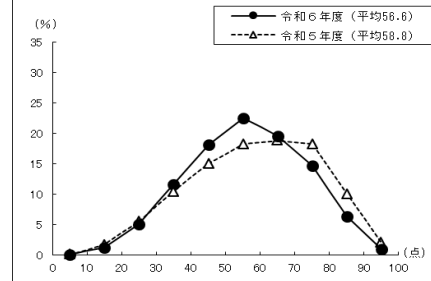
社会



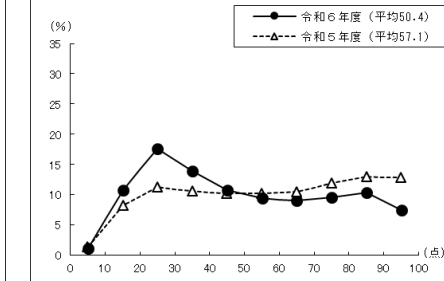
数学



理科



英語



(3) 各教科の概況

全日制課程の学校・学科の中から学力検査総点の受験者平均点を基にして50校・学科を抽出、さらに調査書総点ごとのバランスに留意して合計400人の答案を抽出し、教科ごと、小問ごとにその状況を分析考察した。

教科	概況
国語	引用の仕方や出典の示し方など、情報の扱い方に係る知識は定着しているが、場面の展開や登場人物の心情の変化などを、根拠となる描写を基に捉え、適切に表現することに課題が見られた。
社会	基礎的・基本的な用語を理解し、個々の資料から情報を読み取ることはできているが、複数の資料の情報を関連付けて考察することや事象を多面的・多角的に考察し適切に表現することに課題が見られた。
数学	数と式の計算についての基礎的・基本的な知識・技能の定着は見られるものの、判断した事柄の根拠を数学的な表現で説明する力、見通しをもち筋道を立てて表現する力に課題が見られた。
理科	基本的な知識は定着しているが、観察・実験で得られた結果や資料を科学的な根拠に基づいて分析したり、図やグラフから読み取ったデータを分析したりすることに課題が見られた。
英語	音声による短い説明や、平易な表現が用いられた資料から、必要な情報を掴むことはできているが、まとまった量の英文を読み、書かれている情報を整理して要点を捉えることに課題が見られた。
まとめ	基礎的・基本的な知識や技能を問う問題の正答率が高い。一方で、与えられた情報や結果を、既習知識等と関連付けて考察する問題や、論理的に表現する力が求められる問題においては、正答率・得点率が低く、無答率も高い傾向を示している。

※無答率：解答欄が空白であったものの割合

(4) 今後の対応

知識・技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成するため、生徒が主体的に学習活動に取り組む場面の設定などの工夫や、授業の構成及び指導のあり方の改善が必要である。

教科	授業づくりのポイント
国語	登場人物の心情が描かれた場面を取り上げ、描写を基に捉えたことを伝えあうことで、生徒の考えを広げたり深めたりする。
社会	各分野の視点を生かした「問い」を設定し、複数の資料を比較したり、関連させたりして、考察する学習活動を充実させる。
数学	日常の事象や社会の事象を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、問題を解決する活動を重視する。また、記述内容の正確性・妥当性を確認する機会を充実させる。
理科	生徒が主体的に探究する活動を充実させ、根拠に基づいた議論や表現する機会を充実させる。また、実験・観察において、規則性や関係性を考察する活動を充実させる。
英語	CAN-DOリストを基に授業の目標を明確にした上で、目的や場面、状況を適切に設定した、必然性のある言語活動を行う。

令和6年度

公立高等学校入学者選抜
学力検査の分析結果

宮城県教育委員会

ま え が き

本報告は、令和6年度宮城県公立高等学校入学者選抜における第一次募集本試験(令和6年3月5日実施)の結果について、分析及び考察を示したものです。

公立高等学校の入学者選抜学力検査問題については、これまでも、入学者の選抜に際し極めて重要な資料となることから、中学校学習指導要領の趣旨に即し、その実現に資する出題内容となっているか、中学校において育成することを目指す資質・能力の状況を適切に測ることができているかなど、継続的な調査研究に取り組み、出題方法の工夫や改善に努めてきたところです。

また、入学者選抜学力検査は、義務教育段階の終わりまでに育成することを目指す資質・能力の状況を測ることができるものであり、中学校において学習指導の充実・改善を図るための重要な基礎資料として、当該検査の結果の精緻な分析は大きな意味があります。

これらを踏まえ、次の二点を目的として分析及び考察を進めました。

- 1 検査問題の妥当性を検証し、今後の内容・形式等の改善に役立てる。
- 2 受験者の学習成果の実態を明らかにし、県下中学校の学習指導上の課題を考察し、改善の指針を示す。

一方、高等学校においても、本報告に示すデータや考察は、中学校教育までの学習の成果の円滑な接続、生徒の実態に応じた指導計画の作成、指導内容や指導方法の工夫のための有用な情報であると考えます。

中学校及び高等学校においては、生徒一人一人が育成を目指す資質・能力を確実に身に付けることを目指し、カリキュラム・マネジメントの充実、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善などに取り組んでいるところですが、本報告を積極的に活用することにより、これらを一層促進し、中学生及び高校生にとってより質の高い、豊かな学びが実現されることを切に期待しています。

令和6年7月

宮城県教育委員会教育長 佐藤 靖彦

目 次

I	受験状況	3
II	出題の基本方針	3
III	学力検査の結果（全日制受験者）	
1	総点	3
2	各教科の成績	3
3	各教科の得点分布	4
IV	各教科の分析	
1	標本の抽出	4
2	分析の方法	4
3	各教科の分析結果の概況	5
	（1）社会	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	6
	・正答率・無答率・得点率・その他	8
	・問題	9
	・正答と配点	17
	（2）数学	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	18
	・正答率・無答率・得点率・その他	20
	・問題	21
	・正答と配点	29
	（3）理科	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	30
	・正答率・無答率・得点率・その他	32
	・問題	33
	・正答と配点	41
	（4）英語	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	42
	・正答率・無答率・得点率・その他	44
	・問題	45
	・「放送によるテスト」台本	54
	・正答と配点	57
	（5）国語	
	・出題のねらいと内容・結果の考察	58
	・正答率・無答率・得点率・その他	60
	・正答と配点	62
	・問題	63

※（5）「国語」については、『問題』を右から左に進む向きに頁割付するため、『問題』と『正答と配点』の掲載順を他教科とは逆にしている。

I 受験状況

表1に今年度及び前年度の学力検査の全教科受験者数を示す。

表1 年度別学力検査受験者数

年度	全日制	定時制	計
令和6年度	13,149	362	13,511
令和5年度	13,704	341	14,045

II 出題の基本方針

中学校学習指導要領に示されている目標や内容を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能並びに習得した知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることをねらいとした。また、各教科とも履修学年や分野・領域、難易度のバランス、問題の分量について配慮し、受験生の多様な能力を捉えることができるように工夫した。

III 学力検査の結果（全日制受験者）

1 総点

全教科受験者の総点について、表2に度数分布表を、図1に相対度数分布図を示す。

表2 総点の度数分布表

得点区分	令和6年度		令和5年度
	人数	割合(%)	割合(%)
0~100	274	2.1	1.4
101~150	945	7.2	5.1
151~200	1,722	13.1	10.2
201~250	2,452	18.6	13.9
251~300	2,453	18.6	16.8
301~350	2,083	15.8	18.4
351~400	2,008	15.3	17.9
401~450	1,113	8.5	14.3
451~500	99	0.8	2.0
計	13,149	100.0	100.0

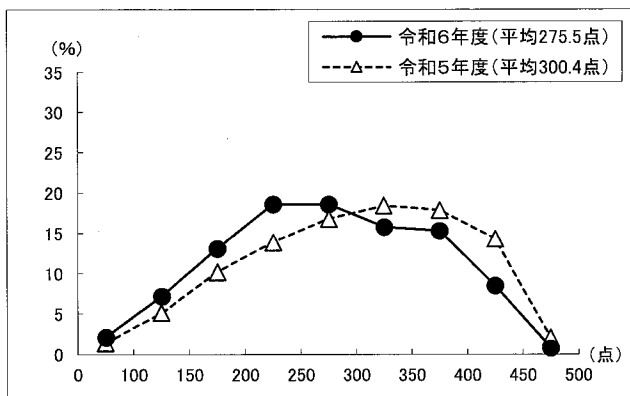


図1 総点の相対度数分布図

2 各教科の成績

表3に各教科の受験者の平均点等と、合格者の平均点を示す。

表3 各教科の平均点等

教科		国語	社会	数学	理科	英語	総点
受験者	平均	59.0 (70.9)	59.6 (68.0)	49.9 (45.6)	56.6 (58.8)	50.4 (57.1)	275.5 (300.4)
	最高	96	100	100	100	100	479
	最低	0	0	0	0	0	0
	中央値	61	61	51	57	46	274
	最頻値	63	82	54	57	23	220
	合格者平均	59.0	59.4	49.8	56.5	50.1	274.8

()内は前年度の平均点

3 各教科の得点分布

今年度及び前年度の国語、社会、数学、理科、英語の得点の相対度数分布図を、以下に示す。

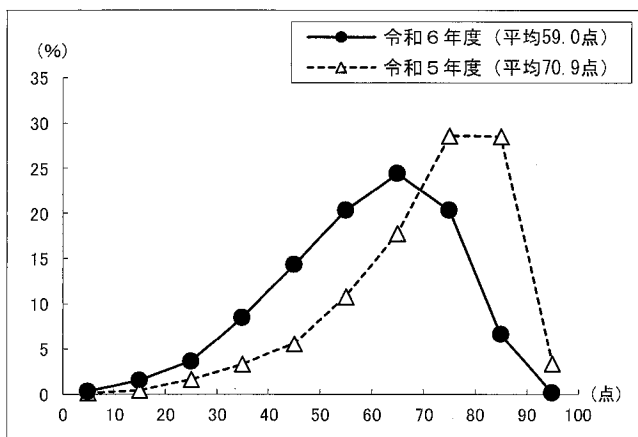


図2 国語

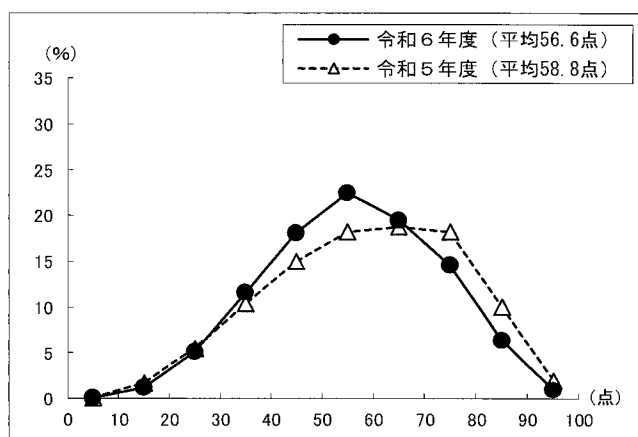


図5 理科

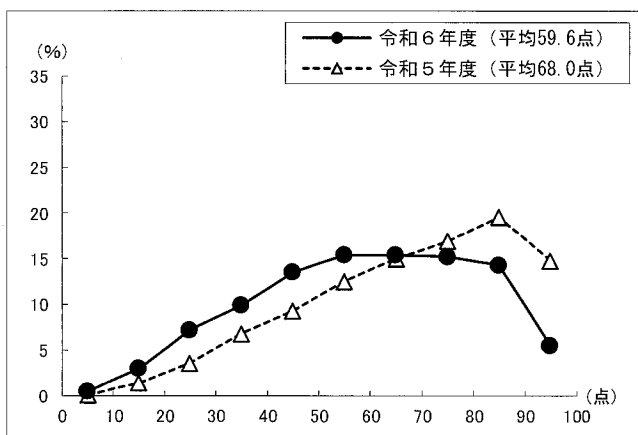


図3 社会

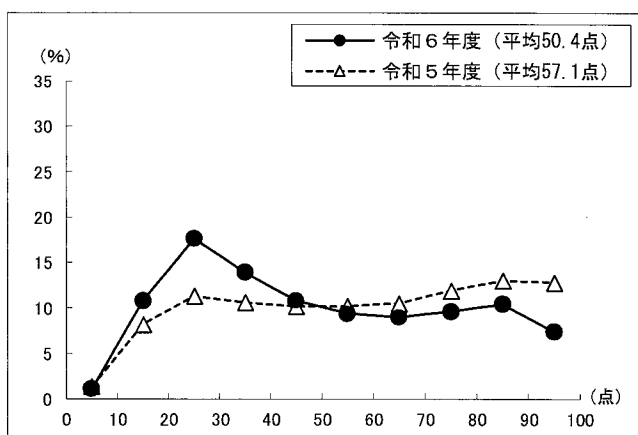


図6 英語

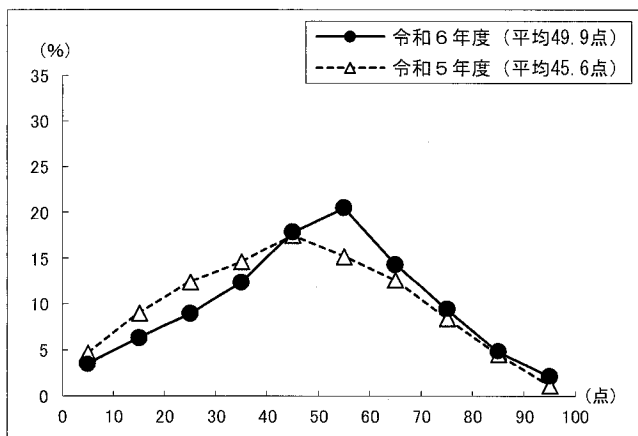


図4 数学

IV 各教科の分析

1 標本の抽出

分析等の調査は、抽出した標本によって行った。標本については、まず全日制の学校・学科の中から学力検査総点の受験者平均点を基にして50校・学科を抽出し、さらに調査書総点ごとのバランスに留意して合計400人を抽出し標本とした。

2 分析の方法

小問ごとに正答率（完全正答の割合）、無答率を算出し、得点率（配点に対する平均点の割合）も算出した。加えて、標本を調査書総点を基に三つの階層に分け、それぞれの階層別の得点率も算出した。さらに、誤答例・誤答傾向について、できるだけ詳細に取り上げ、分析を行った。

3 各教科の分析結果の概況

国語 平均点 59.0点 (前年度比 -11.9)

話し合いにおける司会の役割を把握すること、登場人物の心情を適切に表現することに課題

学びの成果

- ・ 引用の仕方や出典の示し方など、情報の扱い方についての知識が定着している。
- ・ 我が国の言語文化に関する事項のうち、歴史的仮名遣いの読み方を理解し、和歌に描かれた情景を想像することができている。

課題

- ・ 話し合いにおける司会の役割を的確に把握することに課題がある。
- ・ 場面の展開や登場人物の心情の変化などを、描写を基に捉え、表現することに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ 話し合いの学習では、目的を明確にして話し合い、事後の振り返りの活動を大切にする。
- ・ 登場人物の心情が描かれた場面を取り上げ、描写を基に捉えたことを伝え合うことで、生徒の考えを広げたり深めたりする。

社会 平均点 59.6点 (前年度比 -8.4)

事象を関連付けて考察すること、事象を多面的・多角的に考察し、適切に表現することに課題

学びの成果

- ・ 日常の社会生活と関わりのある基礎的・基本的な用語を理解している。
- ・ 個々の資料から基本的な情報を読み取ることができている。

課題

- ・ 複数の資料から読み取った情報を関連付けて考察することに課題がある。
- ・ 社会的事象を多面的・多角的に考察し、適切に表現することに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ 各分野の視点を生かした「問い」を設定し、複数の資料を比較したり、関連させたりして、考察する学習活動を充実させる。
- ・ 社会的事象について考察したことや、課題の解決に向けて構想したことを、論理的に説明したり、議論したりする言語活動を重視する。

数学 平均点 49.9点 (前年度比 +4.3)

判断した事柄の根拠を数学的な表現で説明すること、見通しをもち筋道を立てて表現することに課題

学びの成果

- ・ 数と式の計算についての基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている。

課題

- ・ データの分布の傾向を正確に読み取って判断

し、判断した事柄の根拠について数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

- ・ ある事柄が成り立つことを、見通しをもち、筋道を立てて表現することに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ 日常の事象や社会の事象を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、問題を解決する活動を重視する。
- ・ 問題解決の過程において、記述内容が正確か、根拠が妥当かを確かめる機会を充実させる。

理科 平均点 56.6点 (前年度比 -2.2)

観察、実験の結果を分析し、科学的な視点から解釈し、数値等を用いて表現することに課題

学びの成果

- ・ 自然の事物・現象についての基本的な知識が定着している。
- ・ 観察、実験の結果について、身近に起こる現象を考察し、表現することができている。

課題

- ・ 観察、実験で得られた結果や資料を、科学的な根拠に基づいて分析して解釈し、表現することに課題がある。
- ・ 図やグラフから結果を読み取った上で、データを分析し解釈することに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ 観察、実験の結果を考察する際、科学的な根拠に基づいて議論し表現するなど、生徒が主体的に探究する活動を充実させる。
- ・ 観察、実験の結果のデータ分析と解釈の際、規則性や関係性を考察する活動を充実させる。

英語 平均点 50.4点 (前年度比 -6.7)

英文を読んで要点を捉えること、自分の考えを論理的に書いて伝えることに課題

学びの成果

- ・ 英語による短い説明を聞いて、必要な情報を聞き取ることができている。
- ・ 簡単な表現が用いられた資料から、必要な情報を探し出すことができている。

課題

- ・ まとまった量の英文を読み、書かれている情報を整理し、要点を捉えることに課題がある。
- ・ 文と文の論理的なつながりを意識しながら、自分の考えを書いて伝えることに課題がある。

授業づくりのポイント

- ・ CAN-DOリストを基に授業の目標を明確にした上で、目的や場面、状況を適切に設定した、必然性のある言語活動を行う。
- ・ 言語活動を行う際には、生徒が使う英語の論理性や正確性が高まるよう、内容や表現に関するフィードバックを必要に応じて行う。

1 出題のねらいと内容

地理、歴史、公民に関する知識及び調査や諸資料から情報を読み取りまとめる技能並びに社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察するために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、「新しい紙幣の発行」を題材とし、金融の仕組みや近世以降の歴史に関する知識をみようとした。

第二問では、「南アジアの地誌と産業」を題材とし、世界地理や歴史に関する知識及び地図や統計資料から情報を読み取る技能並びにインドの自動車産業について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第三問では、「日本と諸外国との貿易の歴史」を題材とし、古代から近代までの歴史に関する知識及び中世の琉球王国の貿易について、

資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第四問では、「私たちの消費生活」を題材とし、消費生活などの公民に関する知識及び消費者の権利を守る制度について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第五問では、「東北地方の自然環境と人々の暮らし」を題材とし、日本地理に関する知識及び雨温図や統計資料から情報を読み取る技能並びに東北地方の社会資本の整備状況について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

第六問では、「社会保障制度のあゆみ」を題材とし、社会保障制度に係る公民や歴史に関する知識及び介護保険制度について、資料を基に多面的・多角的に考察し、適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞歴史的分野を中心とする公民的分野との融合問題

歴史の大きな流れを、各時代の特色を踏まえて理解することに課題

- 1 (2) 日本銀行が景気回復のために行う金融政策について選ぶ問題。正答率は59.3%で、誤答の63.8%が「国債を売って通貨量を増やす」を選び、国債の売買と通貨量の増減とを結び付けられていなかった。模式図等を活用し、事象と事象を関連付けながら理解させたい。
- 2 江戸時代の社会の様子について述べた文を選ぶ問題。正答率は43.3%にとどまり、幕府による全国支配が強まっていった時代の特徴を捉えきれていなかった。政治の展開や社

会の様子など、他の時代との共通点や相違点に着目して、各時代の特色を明らかにし、我が国の歴史の大きな流れを理解させたい。

＜第二問＞地理的分野を中心とする問題

既習事項と資料から読み取ったこととを関連付けて考察し、表現することに課題

- 1 (1) 日本とダッカの時差を算出し、条件に合う日時を選ぶ問題。正答率は50.8%で、誤答の62.9%が午前5時を選び、3時間の差は算出できたが、日本の方が時刻が進んでいることは捉えきれていなかった。ICT機器を活用したり、生活場面と結び付けたりして時差の概念を理解し、活用できるようにしたい。

3 インドの自動車産業の成長の要因について、資料を基に需要と供給の2つの語句を用いて説明する問題。得点率は54.4%で、人口増加や1人あたり国内総生産の上昇については述べられていたが、それらを国内での需要の高まりと結び付けて述べられていない解答や、2つの指定語句を適切に用いていない解答が多かった。既習の知識を活用して社会的事象を捉え、現代社会の諸課題の解決に役立てられるように指導を工夫したい。

＜第三問＞歴史的分野の問題

歴史的事象を因果関係などで関連付けて考察し、論理的に説明することに課題

- 2 元による襲来背景となった13世紀の世界の様子を選ぶ問題。正答率は59.8%で、モンゴル帝国拡大の中で元が建国され、日本への襲来に及んだことへの理解が不十分であった。我が国の歴史を世界の歴史と結び付け、広い視野から理解を深めさせたい。
- 5 琉球王国が15世紀頃、諸外国とどのような貿易をすることで栄えたのか、資料を基に説明する問題。得点率は51.5%で、琉球王国の中継貿易については述べられていたが、明への渡航が多く許可されていた利点を生かしたことを論拠として、琉球王国が栄えたことを説明できていない解答が多かった。複数の事象を類似や差異を明確にし、因果関係などで関連付けて考察し、論理的に説明したり、議論したりする言語活動を重視したい。

＜第四問＞公民的分野の問題

三権分立制の意義を踏まえ、国の政治の仕組みを理解することに課題

- 2 内閣の役割について述べた文を選ぶ問題。正答率は28.5%にとどまり、誤答の52.6%が

国会の役割である条約の承認を選んでいて、民主政治の仕組みとしての三権の抑制と均衡の関係の中で、国会、内閣、裁判所のそれぞれの役割について、理解を深めさせたい。

＜第五問＞地理的分野を中心とする公民的分野との融合問題

諸事象を位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して考察することに課題

- 3 東北地方の農業統計から読み取れることを選ぶ問題。正答率は43.0%で、表から必要なデータを見いだして、適切に処理することが十分にできていなかった。課題を追究する活動の中で、統計資料を収集したり、作成したりし、資料を活用する技能を高めさせたい。
- 5 東北地方の高速道路網の整備によって期待されていることについて、資料を基に整備状況の特徴を含めて説明する問題。2つの地図を比較したり、年表と関連付けたりし、高速道路網の広がり方を捉えた上で、東北地方の地形や人々の暮らしなどと関連付けて考察することができていなかった。地理的分野や公民的分野の視点を活かした「問い」を設定し、考察する学習活動を充実させたい。

＜第六問＞公民的分野を中心とする歴史的分野との融合問題

社会的事象の意味や意義を多面的・多角的に考察し、適切に表現することに課題

- 5 介護保険制度の導入の目的を資料を基に説明する問題。高齢化率の上昇や核家族化には触れていたが、それらを介護保険制度の概要の資料と結び付けず、社会保障の役割を踏まえていない解答が多かった。現代社会の諸課題について多様な角度や立場から考察し、表現する学習活動を取り入れたい。

社会

正答率・無答率・得点率・その他

問題				正答率 →	← 無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135~111点 b:110~88点 c:87~51点)
第一問	1	(1)	多肢選択 公民	77.0%	0.0%	77.0%	a: 94.9% b: 79.3% c: 59.4%
		(2)	多肢選択 公民	59.3%	0.0%	59.3%	a: 88.0% b: 57.2% c: 37.0%
	2	多肢選択 歴史	43.3%	0.3%	43.3%	a: 60.7% b: 42.1% c: 29.7%	
	3	(1)	多肢選択 歴史	72.3%	0.0%	72.3%	a: 95.7% b: 77.2% c: 47.1%
		(2)	語句記述 歴史	29.3%	22.0%	32.7%	a: 66.7% b: 29.4% c: 7.3%
第二問	1	(1)	多肢選択 地理	50.8%	0.0%	50.8%	a: 73.5% b: 46.2% c: 36.2%
		(2)	多肢選択 歴史	52.5%	0.0%	52.5%	a: 82.1% b: 53.8% c: 26.1%
		(3)	多肢選択 地理	59.0%	0.0%	59.0%	a: 79.5% b: 62.8% c: 37.7%
	2	多肢選択 地理	58.8%	0.3%	58.8%	a: 84.6% b: 60.7% c: 34.8%	
	3	論述 地理・公民	31.3%	6.0%	54.4%	a: 68.4% b: 60.0% c: 36.5%	
第三問	1	多肢選択 歴史	68.5%	0.3%	68.5%	a: 96.6% b: 72.4% c: 40.6%	
	2	多肢選択 歴史	59.8%	0.5%	59.8%	a: 81.2% b: 61.4% c: 39.9%	
	3	並べ替え 歴史	21.5%	0.3%	21.5%	a: 29.1% b: 21.4% c: 15.2%	
	4	語句記述 歴史	45.5%	3.8%	49.1%	a: 80.9% b: 50.3% c: 20.8%	
	5	論述 歴史	21.5%	6.5%	51.5%	a: 72.5% b: 54.2% c: 30.9%	
第四問	1	(1)	語句記述 公民	65.3%	5.5%	66.5%	a: 94.9% b: 68.5% c: 40.3%
		(2)	多肢選択 公民	43.5%	0.3%	43.5%	a: 66.7% b: 43.5% c: 23.9%
	2	多肢選択 公民	28.5%	0.3%	28.5%	a: 46.2% b: 24.8% c: 17.4%	
	3	多肢選択 公民	80.8%	0.5%	80.8%	a: 97.4% b: 87.6% c: 59.4%	
	4	論述 公民	57.3%	4.3%	78.8%	a: 86.7% b: 85.7% c: 64.8%	
第五問	1	多肢選択 歴史	61.3%	0.3%	61.3%	a: 82.1% b: 61.4% c: 43.5%	
	2	多肢選択 地理	60.5%	0.3%	60.5%	a: 89.7% b: 55.2% c: 41.3%	
	3	多肢選択 地理	43.0%	0.8%	43.0%	a: 74.4% b: 42.8% c: 16.7%	
	4	語句記述 地理	37.5%	10.3%	39.3%	a: 66.4% b: 37.7% c: 18.1%	
	5	論述 地理・公民	35.0%	7.0%	61.1%	a: 75.9% b: 66.2% c: 43.2%	
第六問	1	多肢選択 歴史	67.0%	0.5%	67.0%	a: 93.2% b: 66.9% c: 44.9%	
	2	語句記述 歴史	73.8%	12.0%	73.8%	a: 97.4% b: 76.6% c: 50.7%	
	3	多肢選択 公民	90.5%	0.5%	90.5%	a: 97.4% b: 91.7% c: 83.3%	
	4	多肢選択 公民	92.5%	0.5%	92.5%	a: 99.2% b: 96.6% c: 82.6%	
	5	論述 公民	36.5%	4.8%	63.5%	a: 78.1% b: 64.7% c: 49.9%	
計						59.0%	a: 79.6% b: 60.6% c: 39.9%

正答率:完全正解の割合 得点率:配点に対する平均点の割合

令和6年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題
社 会

第一問 律子さんは、2024年7月に新しい紙幣が発行されることを知り、紙幣の発行について調べ、資料を作成しました。これを読んで、あとの1～3の問いに答えなさい。

資料 新しい紙幣の発行について

2024年7月に、①日本銀行は一万円札などの3種類の紙幣のデザインを変更し、新しい紙幣を発行します。これは、紙幣の偽造を防ぐことがおもな目的です。②江戸時代には、幕府の許可を得て各藩が発行した藩札という紙幣に、すかし模様はんさつが入っていました。明治時代以降の紙幣には、③さまざまな分野で活躍した人物の肖像が描かれていますが、これも偽造を防ぐための工夫の一つです。

- 1 下線部①について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。
 - (1) 日本銀行の役割について述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 国の予算を作成する。	イ 国の予算を議決する。
ウ 一般の人々のお金を預かる。	エ 政府のお金の出し入れを行う。
 - (2) 日本銀行が、不景気のときに、景気を回復させるために行う金融政策について述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 国債を買って通貨量を増やす。	イ 国債を買って通貨量を減らす。
ウ 国債を売って通貨量を増やす。	エ 国債を売って通貨量を減らす。
- 2 下線部②の社会のようすについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 都の市では、各地から運ばれた産物などが売買され、和同開珎などの貨幣が使われた。	イ 寺社の門前などで定期市が開かれ、中国から輸入された貨幣が使われるようになった。
ウ お金の貸し付けなどを行っていた土倉や酒屋に対して、土一揆がはじめて起こった。	エ 金山や銀山の開発が進み、全国统一の貨幣として金貨や銀貨がつくられて流通した。
- 3 下線部③について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。
 - (1) 現在、発行されている一万円札の肖像は福沢諭吉です。福沢諭吉が行ったことについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

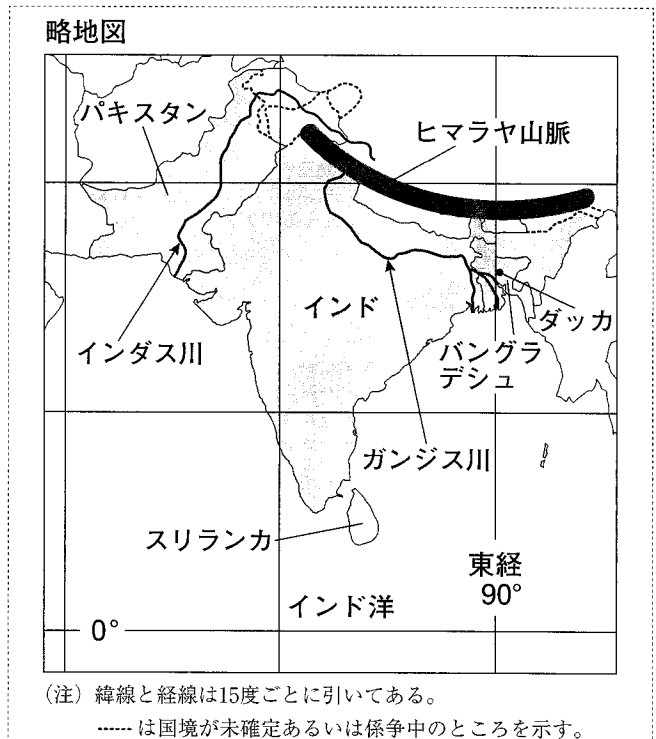
ア 大政奉還を行った。	イ 欧米の思想を紹介した。
ウ 条約改正の交渉にあたった。	エ 政党内閣を組織した。
 - (2) 2024年7月に発行される一万円札の肖像となる渋沢栄一は、明治政府の役人であったときに、富岡製糸場の建設を進めました。明治政府が、富国強兵の一環として、近代産業の育成を目指した政策を何とというか、書きなさい。

第二問 あき子さんは、社会科の授業で出された「世界の諸地域について調べよう」という課題で、おじが住んでいる南アジアを取り上げました。次の1～3の問いに答えなさい。

1 あき子さんは、南アジアの位置や地形について調べ、略地図を作成しました。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) あき子さんは、夏休みに、略地図中のバングラデシュの首都ダッカに住むおじに、日本から国際電話をかけることにしました。現地時刻で、8月10日の午前8時にあき子さんのおじが電話を受けるようにするためには、あき子さんは日本時間で何月何日の何時に電話をかければよいか、略地図を参考にして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 8月9日午後5時
- イ 8月10日午前5時
- ウ 8月10日午前11時
- エ 8月10日午後11時



(2) あき子さんは、南アジアの歴史について調べました。略地図中のインダス川流域で、紀元前に誕生したインダス文明について述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 城壁と神殿をもつ都市国家がいくつも生まれ、くさび形文字や、月の満ち欠けにもとづく暦がつくられた。
- イ 統一王国ができ、神殿やピラミッドがつくれ、大河のはんらんの時期を知るために天文学が発達した。
- ウ 整備された道路や水路などをもつモヘンジョ・ダロなどの都市がつくれ、それらの都市を中心に繁栄した。
- エ 大河の中・下流域に国がおこり、この国では占いが行われ、占いの結果が甲骨文字で記録された。

(3) あき子さんは、南アジアの気候と農作物の栽培について調べ、資料Aを作成しました。資料A中の 、 にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料A 南アジアの気候と農作物の栽培

南アジアの気候は、季節風の影響を大きく受けている。季節風は、およそ半年ごとに風の向きが変わり、夏には、 へ湿った風が吹き、雨をもたらす。季節風の影響で、ガンジス川の下流域では、夏に降水量が多く、おもに の栽培が行われている。

- | | | |
|---|------------------|--------|
| ア | a - インド洋からヒマラヤ山脈 | b - 小麦 |
| イ | a - インド洋からヒマラヤ山脈 | b - 米 |
| ウ | a - ヒマラヤ山脈からインド洋 | b - 米 |
| エ | a - ヒマラヤ山脈からインド洋 | b - 小麦 |

2 あき子さんは、南アジアの産業に興味をもち、インド、スリランカ、パキスタンの3つの国の工業出荷額と工業出荷額の業種別割合について調べ、資料Bを作成しました。資料Bから読みとれることを述べた文として、最も適切なものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料B インド、スリランカ、パキスタンの工業出荷額と工業出荷額の業種別割合 (2018年)

	工業出荷額 (億ドル)	工業出荷額の業種別割合 (%)						
		食料品	繊維	石油製品	化学	金属	機械	その他
インド	12,966	15.0	6.7	12.8	13.1	17.2	21.8	13.4
スリランカ	272	35.7	30.1	8.1	4.0	3.3	3.7	15.1
パキスタン	1,075	25.5	28.3	6.8	12.7	5.3	8.5	13.0

(注) 数字は四捨五入しており、100%にならないものもある。

(「世界国勢図会2023/24」などより作成)

- ア インドの工業出荷額全体に占める石油製品工業、化学工業、金属工業、機械工業の割合の合計は、6割を超えている。
- イ スリランカの食料品工業の出荷額は、インドの食料品工業の出荷額よりも多い。
- ウ パキスタンでは、工業出荷額全体に占める食料品工業の割合が、繊維工業の割合よりも大きい。
- エ スリランカとパキスタンの工業出荷額全体の合計は、インドの工業出荷額の1割以下である。

3 あき子さんは、インドで経済成長が続き、自動車の生産台数が世界で上位になったことを知り、インドの自動車産業について調べ、資料C～Eを作成しました。資料C～Eをもとにして、インドの自動車産業の成長の要因として考えられることを、需要と供給の2つの語句を用いて、簡潔に述べなさい。

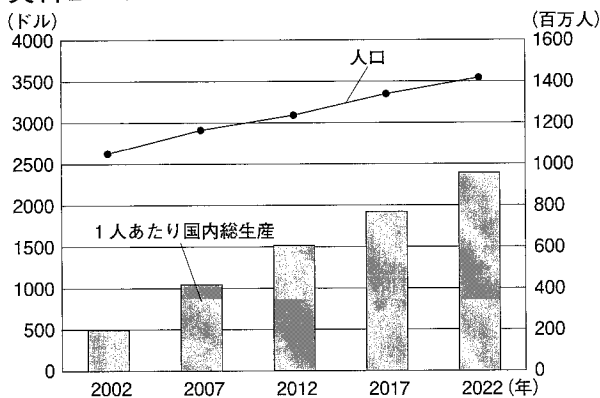
資料C 自動車生産台数上位5か国の人口と生産台数、販売台数、輸出台数 (2022年)

	国名	人口 (万人)	生産台数 (万台)	販売台数 (万台)	輸出台数 (万台)
1位	中国	142,589	2,702	2,686	311
2位	アメリカ	33,829	1,006	1,423	191
3位	日本	12,495	784	420	381
4位	インド	141,717	546	473	74
5位	韓国	5,182	376	168	231

(注) 販売台数は、新車の販売または登録の台数を示す。また、数字は四捨五入している。

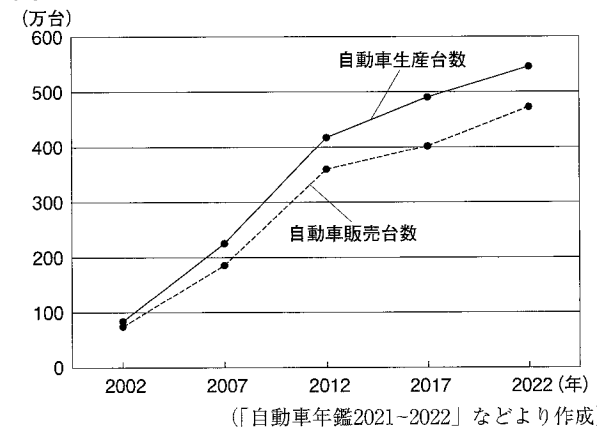
(「世界国勢図会2023/24」などより作成)

資料D インドの1人あたり国内総生産と人口の推移



(「世界国勢図会2023/24」などより作成)

資料E インドの自動車の生産台数と販売台数の推移



(「自動車年鑑2021-2022」などより作成)

第三問 康太さんは、社会科の授業で、「日本と諸外国との貿易の歴史」について調べ、次の表を作成しました。これを見て、あとの1～5の問いに答えなさい。

世紀	日本と諸外国との貿易のようす
12	宋との貿易が行われ、①平清盛は貿易を拡大するために、航路や港を整備した。
13	元との貿易が商人の間で行われ、②元による二度の襲来のあとも続けられた。
15	明や朝鮮との貿易が行われ、堺や博多が貿易港として繁栄した。
17	朱印船による貿易が行われたが、③江戸幕府はしだいに諸外国との貿易を統制した。
19	諸外国からの開国要求により、江戸幕府はアメリカとの間で④を結び、神奈川（横浜）や兵庫（神戸）などを順次、貿易港として開き、欧米諸国との貿易を本格的に始めた。

1 下線部①の人物が、武士としてはじめてついた役職として、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 摂政 イ 関白 ウ 太政大臣 エ 征夷大將軍

2 下線部②の背景となった13世紀の世界のようすについて述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 西アジアではイスラム教徒によって帝国が築かれ、東アジアでは長安を都とする国が築かれた。
 イ ユーラシア大陸の東西にまたがるモンゴル帝国が築かれ、東西の文化の交流が進んだ。
 ウ ポルトガルやスペインが、大西洋からの航路を開拓し、世界各地への進出を始めた。
 エ 欧米諸国が、資源や市場を求めてアジアやアフリカへ進出し、植民地を広げていった。

3 下線部③に関連するできごとについて述べた次のア～ウの文を、起こった年代の古い順に並べかえ、記号で答えなさい。

ア 江戸幕府は、オランダの商館を平戸から長崎の出島に移した。
 イ 拡大したキリスト教徒の弾圧などに抵抗して、高原や天草の人々が一揆を起こした。
 ウ 江戸幕府は、法令によって全国でキリスト教を禁止した。

4 ④にあてはまる、1858年に結ばれた条約の名称を何というか、書きなさい。

5 康太さんは学習を振り返り、日本が、明や朝鮮との貿易を行っていた15世紀ごろ、琉球王国とも貿易をしていたことに興味をもちました。そのころの琉球王国について調べを進めた康太さんは、琉球王国が諸外国との貿易によって栄えたことを知り、資料A、Bを作成しました。琉球王国は、どのように貿易を展開することで栄えたのか、資料A、Bを参考にして、簡潔に述べなさい。

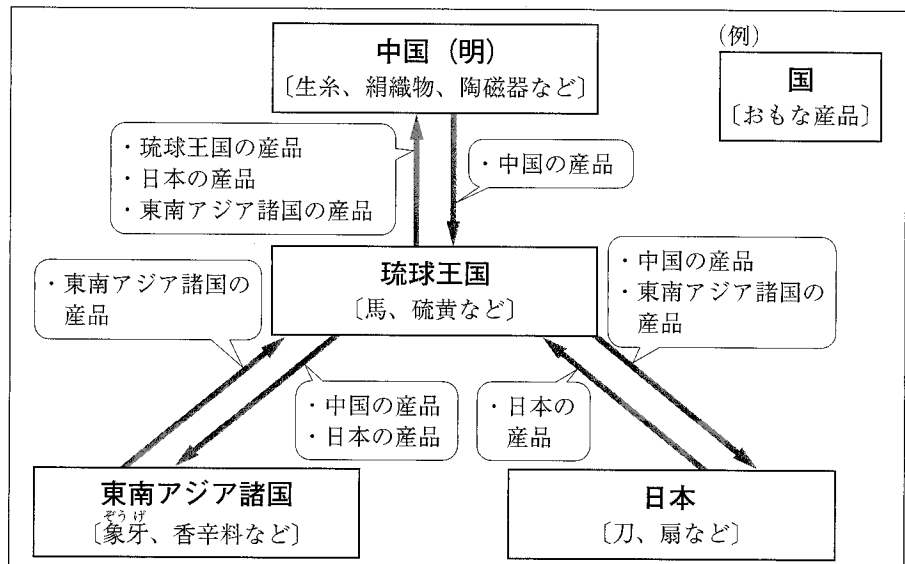
資料A 明と諸外国との貿易

明は、諸外国との貿易を制限し、公式の朝貢による貿易のみ許可した。許可した渡航頻度は、下の表のように、国によって異なっていた。

日本	10年に1回
安南	3年に1回
琉球王国	1年または2年に1回

(注) 安南は現在のベトナム、ジャワは現在のインドネシアの一部である。

資料B 琉球王国の貿易相手国と貿易に用いられた各国の製品の流れ



(資料A、Bともに「沖縄県の歴史」などより作成)

第四問 里香さんは、社会科の授業で、「私たちの消費生活」について調べ、資料Aを作成しました。これを読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。

資料A 私たちの消費生活

私たちは、必要な物の多くを商品として購入し、①消費して生活しています。消費者は、何をどれくらい買うかなどをそれぞれの意思と判断で決定できますが、生産者や販売者に比べて情報の面で、不利な立場に置かれることがあります。消費者問題が起こりえます。2009年に②内閣の組織として、消費者庁が設置され、③国民の消費生活に関する法の整備や施策が進められています。

1 下線部①について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 消費にかかわる最も基本的な経済主体で、家族や個人として消費生活を営む単位のことを何というか、書きなさい。

(2) 消費税について説明した資料B中の 、 にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア a - 異なる b - 高い
- イ a - 異なる b - 低い
- ウ a - 同じである b - 高い
- エ a - 同じである b - 低い

資料B 消費税について

消費税は、国や地方公共団体に税金を納める人と負担する人が 。同じ金額の商品を購入した場合、所得が低い人ほど、所得に占める税金の割合が 傾向がある。

2 下線部②の役割について述べた文として、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 弾劾裁判所を設置する。 イ 条約を承認する。
- ウ 法律を執行する。 エ 内閣総理大臣を指名する。

3 下線部③について、製造物責任法を説明した文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 消費者は、契約内容に消費者の不利益になるような不適切な内容があった場合、その契約の取り消しを求めることができる。
- イ 消費者は、商品の欠陥によって被害を受けた場合には、企業の過失を証明しなくとも、企業に損害の賠償を求めることができる。
- ウ 消費者は、訪問販売や電話勧誘などで商品を購入した場合、一定期間内であれば、無条件で契約の取り消しを求めることができる。
- エ 消費者は、誰と、どのような内容の契約を、どのような方法で結ぶのかについて、基本的に自由にできる。

4 里香さんは、加工食品にはさまざまな事項が表示されていることに気づき、調べを進め、資料C～Eを作成しました。食品表示には、消費者にとって、どのような利点があるか、資料C～Eを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料C 食品表示法のおもな内容

- 「食品表示基準」で表示の仕方や記載事項について定め、それぞれの食品に表示することを、食品関連事業者に義務づける。
- 虚偽表示や誇大表示などを禁止する。
- 消費者庁が食品表示について、食品関連事業者を指導・監督する。

資料D 「食品表示基準」で定められた加工食品に表示するおもな事項

- 名称 製造者名
- 原材料名 原料原産地名
- 消費期限または賞味期限 保存方法
- 栄養成分の量及び熱量 添加物
- 食物アレルギーの原因となる物質

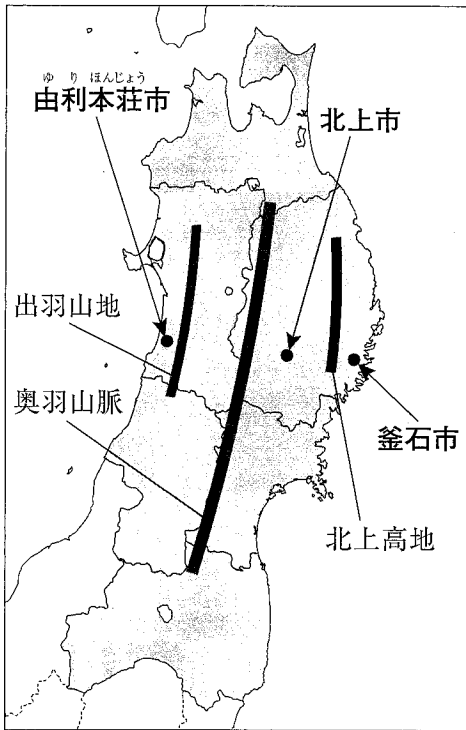
資料E 消費者基本法に示された消費者のおもな権利

- 1 安全の確保 2 選択の機会の確保 3 必要な情報の提供
- 4 教育の機会の提供 5 消費者の意見の反映 6 消費者被害の救済

(資料C～Eいずれも「消費者庁ホームページ」などより作成)

第五問 亮太さんは、社会科の授業で、「東北地方の自然環境と人々の暮らし」について調べ、資料Aを作成しました。これをみて、あとの1～5の問いに答えなさい。

資料A 東北地方の自然環境と人々の暮らし



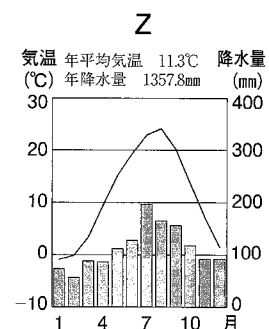
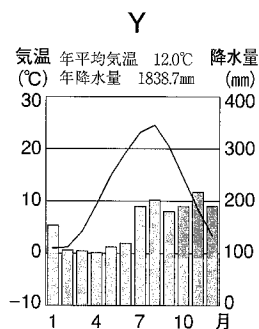
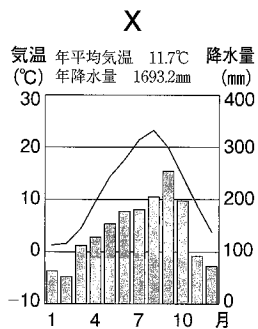
- 中央に奥羽山脈が南北に連なり、その西側には出羽山地、東側には北上高地が広がっています。
- かつては、多様な鉱産資源に恵まれ、①中尊寺金色堂の造営には、この地方産出の金が用いられました。
- ②気候は、地形や海流などの影響を受け、地域によって異なっています。
- 地形や気候に応じ、③農業が発達しています。平地では、豊富な水資源をいかして米づくりがさかんに行われています。内陸部の山に囲まれた④とよばれる土地や、扇状地では、さくらんぼやももなどの果樹栽培がみられます。
- 1970年代以降、高速道路や自動車専用道路などによってつくられる⑤高速道路網の整備が進められました。現在も整備は進められています。

1 下線部①と同じ平安時代に創建されたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 法隆寺 イ 正倉院 ウ 平等院鳳凰堂 エ 東大寺南大門

2 下線部②について、亮太さんは、東北地方の日本海側と太平洋側、内陸部の気候を比較するために、ほぼ同緯度の由利本荘市、北上市、釜石市の3つの市の気温と降水量を調べ、資料Bを作成しました。3つの市と、資料B中のグラフX～Zの組み合わせとして、正しいものを、あとのア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

資料B 3つの市の気温と降水量



(「気象庁ホームページ」より作成)

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| ア X - 由利本荘市 | Y - 北上市 | Z - 釜石市 |
| イ X - 由利本荘市 | Y - 釜石市 | Z - 北上市 |
| ウ X - 北上市 | Y - 由利本荘市 | Z - 釜石市 |
| エ X - 北上市 | Y - 釜石市 | Z - 由利本荘市 |
| オ X - 釜石市 | Y - 由利本荘市 | Z - 北上市 |
| カ X - 釜石市 | Y - 北上市 | Z - 由利本荘市 |

- 3 下線部③について、亮太さんは、東北地方各県の農業について調べ、資料Cを作成しました。資料Cから読みとれることを述べた文として、最も適切なものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料C 東北地方各県の農業統計（2021年）

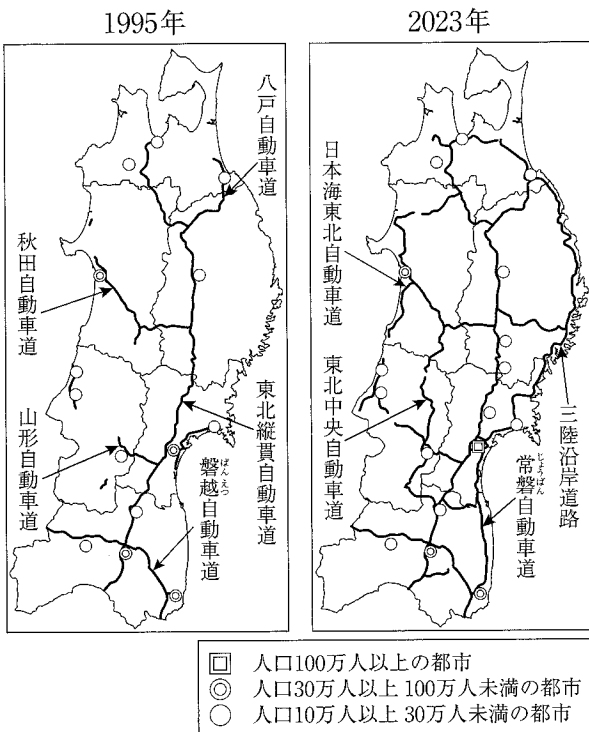
	面積 (km ²)	耕地面積 (km ²)	農業 産出額 (億円)	農業産出額に占めるおもな農作物の内訳 (億円)			
				米	野菜	果実	畜産
青森県	9,646	1,496	3,277	389	753	1,094	947
岩手県	15,275	1,493	2,651	460	245	132	1,701
宮城県	7,282	1,255	1,755	634	271	22	753
秋田県	11,638	1,464	1,658	876	285	75	356
山形県	9,323	1,158	2,337	701	455	694	392
福島県	13,784	1,373	1,913	574	431	297	475

(注) 数字は四捨五入している。

(「生産農業所得統計」などより作成)

- ア 秋田県と山形県の米の産出額の合計は、東北地方全体の米の産出額の半分以上を占めている。
 イ 福島県の野菜と果実の産出額の合計は、福島県の農業産出額全体の半分以上を占めている。
 ウ 岩手県の畜産の産出額は、岩手県の農業産出額全体の7割を超えている。
 エ 東北地方の中で、県の面積に占める耕地面積の割合は、青森県より宮城県の方が大きい。
- 4 ④ にあてはまる語句を書きなさい。
- 5 下線部⑤について、亮太さんは、資料D、Eを作成しました。東北地方の高速道路網の整備には、どのようなことが期待されているか、整備状況の特徴を含めて、資料D、Eをもとにして、簡潔に述べなさい。

資料D 東北地方の高速道路・おもな自動車専用道路の整備状況



(注) 2023年の整備状況中の都市については、市町村が合併した都市も含む。

資料E 東北地方の高速道路・おもな自動車専用道路の整備状況の推移

年代	整備状況
1970年代	関東地方と東北地方を結ぶ東北縦貫自動車道の一部が開通した。
1980年代	山形自動車道や八戸自動車道の一部が開通した。
1990年代	秋田自動車道や磐越自動車道が開通した。
2000年代	日本海東北自動車道の一部が開通した。
2010年代	常磐自動車道と三陸沿岸道路が接続した。
2020年代	福島県から山形県を通り、秋田県に至る東北中央自動車道の整備が続いている。

(資料D、Eともに「国土交通省ホームページ」などより作成)

第六問 彩夏さんは、社会科の授業で、「社会保障制度のあゆみ」について調べ、資料Aを作成しました。これを読んで、あとの1～5の問いに答えなさい。

資料A 社会保障制度のあゆみ

世界の中でいち早く18世紀に産業革命が起こった は、「世界の工場」とよばれましたが、労働者の生活環境の悪化などの問題が起こり、労働者の生活を保障する制度がつくられていきました。20世紀前半の世界恐慌に対して、アメリカでは、フランクリン・ローズベルト大統領により、政府が公共事業を起こすなどの積極的に経済を調整する 政策がとられ、社会保障に関する制度が導入されました。日本では、第二次世界大戦後、社会保障制度が整えられていきました。日本の社会保障制度は、社会保険、公的扶助、③社会福祉、④公衆衛生の4つの柱からなり、社会の重要な基盤となっています。

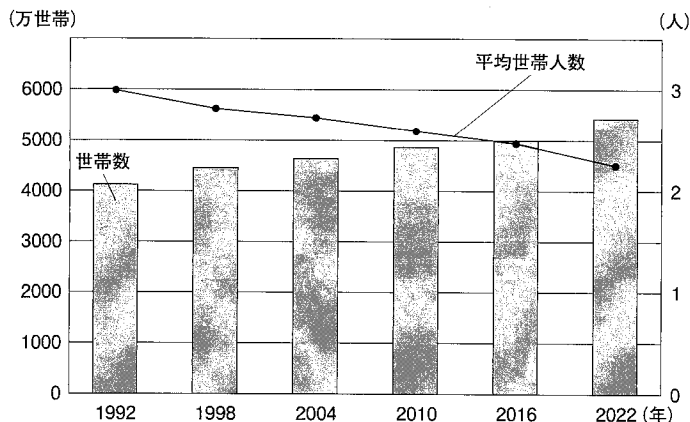
- にあてはまる国として、正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア イギリス イ フランス ウ ドイツ エ アメリカ
- にあてはまる語句を書きなさい。
- 下線部③に関連して、道路や施設、設備などが、高齢者や障がいのある人をはじめ、すべての人々にとって利用しやすい状態であることを何というか、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア ワーク・ライフ・バランス イ バリアフリー
ウ リサイクル エ インフォームド・コンセント
- 下線部④について述べた文として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
ア 収入が少なく、生活に困っている人々に、生活費や教育費を支給する。
イ 適切な保護や支援の必要がある幼児や児童に対し、施設やサービスを提供する。
ウ 人々の健康な生活を支えるために、感染症の予防や生活環境の改善をはかる。
エ 労働者が子育てや介護と、仕事とを両立できるように支援する。
- 彩夏さんは、日本の社会保障制度の一つである社会保険に関して、2000年に介護保険制度が導入されたことを知り、さらに調べを進め、資料B～Dを作成しました。介護保険制度はどのようなことを目的として導入されたと考えられるか、資料B～Dを参考にして、簡潔に述べなさい。

資料B 全人口のうち65歳以上の人占める割合 (%)

年	1990	2000	2010	2020
割合	12.1	17.4	23.0	28.6

(注) 数字は四捨五入している。

資料C 世帯数と平均世帯人数の推移



資料D 介護保険制度の概要

- 満40歳以上の全国民に加入を義務づけ、保険料を徴収する。
- 保険料と公費を財源とし、制度の運営は、市町村、特別区が行う。
- 原則として、65歳以上で要介護認定を受けた場合、1～3割の自己負担で、介護サービスを受けることができる。
- 介護サービスには、居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービスがあり、介護福祉士や訪問介護員などの、介護に関する専門職員が介護にあたる。

(資料B～Dいずれも「厚生労働省ホームページ」などより作成)

備考欄	配点	第一問	
	15		
	3	1 (1)	エ
	3	(2)	ア
	3	2	エ
	3	(1)	イ
	3	3 (2)	殖産興業 [政策]

備考欄	配点	第二問	
	17		
	3	(1)	ウ
	3	1 (2)	ウ
	3	(3)	イ
	3	2	ア
	5	3	(例) インドでは、人口増加が続き、1人あたり国内総生産が上昇するなかで、国内での自動車の需要が高まり、その需要に応じ、国内販売向けの自動車の供給が増え、自動車産業が成長している。

備考欄	配点	第五問	
	17		
	3	1	ウ
	3	2	オ
	3	3	エ
	3	4	盆地
	5	5	(例) 東北地方の内陸部を南北に貫く高速道路から、東西方向や沿岸部へ網目状に広げることで、東北地方の都市間の結びつきを強め、移動時間の短縮や交流の活性化などが期待されている。

備考欄	配点	第三問	
	17		
	3	1	ウ
	3	2	イ
	3	3	ウ → イ → ア
	3	4	日米修好通商条約
	5	5	(例) 琉球王国は、明への渡航が多く許可された利点をいかし、自国の産品と他国の産品を用いて朝貢貿易を行い、そこで得た明の産品を日本や東南アジア諸国と交易する中継貿易により栄えた。

備考欄	配点	第四問	
	17		
	3	1 (1)	家計
	3	(2)	ア
	3	2	ウ
	3	3	イ
	5	4	(例) 消費者は、法律で定められた基準にしたがって事業者が表示した情報をもとに、安全性や健康への影響を検討した上で、安心して食品を購入できる。

備考欄	配点	第六問	
	17		
	3	1	ア
「新規働き直し」も正答とする。	3	2	ニューデール [政策]
	3	3	イ
	3	4	ウ
	5	5	(例) 高齢化や核家族化が進行するなかで、介護が必要な高齢者やその家族を支援し、社会全体で支えるしくみを整え、介護が必要な高齢者が、適切なサービスを受けられるようにする。

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

満点 100 点

1 出題のねらいと内容

数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などの知識及び事象を数学化したり、数学的に解釈、表現・処理したりする技能並びにそれらを活用して問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、数と式についての基礎的な知識と計算する力、根号のついた数を変形し無理数と有理数の大小を判断する力及び回転体の体積を求める力をみようとした。

第二問では、起こり得る場合を順序よく整理し考察する力、基本的な図形の性質から角度を求める力、扇形の弧の長さを求める力、放物線の対称性を活用し座標や関数 $y=ax^2$ の比例定数を求める力、与えられた事象から規

則性を見いだす力及び見いだした規則性を数学化し論理的に考察する力をみようとした。

第三問では、長距離走大会を素材とし、箱ひげ図から必要な情報を読み取る力、箱ひげ図から読み取った事柄の根拠を表現する力、コースを走るときの時間と距離の関係をグラフに表現する力及び伴って変わる二つの数量の関係を論理的に考察し処理する力をみようとした。

第四問では、中点連結定理から線分の長さを求める力、二つの三角形が合同であることを平行線の性質から論理的に考察し表現する力、相似な三角形に着目して線分の長さを求める力及び三平方の定理や線分の比と面積の関係を活用し論理的に問題を解決する力をみようとした。

2 結果の考察

<第一問> 数と式、関数、図形の基礎事項についての問題

数の平方根を用いて数学的に処理すること、平面図形と空間図形を関連付けて論理的に考察することに課題

7 無理数と有理数の大小を判断する問題。
正答率は66.8%であり、b層とc層の得点率の差が第一問で特に大きかった。全体の84.3%が $3 < \sqrt{10}$ であることを判断できていることから、 $7/\sqrt{7}$ と 3 、 $\sqrt{10}$ との大小を比較するところにつまずきがあったと推察される。分母の有理化の学習の際に、計算の手順や方法を理解させるだけでなく、有理化することの意味を考えさせ、その必要性に気付かせることが大切である。数学的に処理することのよさを実感できるようにしたい。

8 平面図形を1回転させたときにできる立

体の体積を求める問題。第一問で最も正答率が低かった。図の斜線部分を直線ABを軸として回転させた立体の体積を計算したと推察される $21\pi\text{cm}^3$ 、長方形ABCDを直線DCを軸として回転させた立体の体積を計算したと推察される $96\pi\text{cm}^3$ など、条件に従って立式し処理できていない誤答が見られた。空間図形を平面図形の運動によって構成されたものとして捉えることができるよう、観察や操作などの活動を効果的に取り入れることが大切である。平面図形と空間図形を関連付けながら論理的に考察する力を育成していきたい。

<第二問> 4領域の基礎事項についての問題

根拠を基に数学的に処理すること、数量関係を一般的に表現し考察することに課題

3 (2) 放物線の対称性を活用し関数 $y=ax^2$ の

比例定数 a の値を求める問題。正答率が21.0%と第二問で最も低く、 a 層と $b \cdot c$ 層との得点率の差が大きかった。グラフの形状から a の値を判断した2、グラフから C の x 座標を1として a の値を求めた8など、計算によらずグラフからおおよその値を判断して求めたと推察される誤答が全体の25.5%であった。グラフの特徴を捉え問題を解決する場面では、関数の理解を深めさせながら、根拠を基にして数学的に処理することの大切さを意識させるようにしたい。

4 (2) (7) 与えられた事象から見いだした規則性を数学化し論理的に考察する問題。正答率は71.5%と第二問では高かったが、正答の11回目に対し、10回目や12回目という誤答が比較的多く見られた。操作で新たに置く基石の数が8の倍数になっていることを見いだしたが、それを一般的に表現し処理する際に誤ったと推察される。具体的な数から規則性を見いだして一般的に表現し試行錯誤しながら問題を解決する活動や問題の条件を変えたらどうなるかを考察する活動を取り入れるなど、実生活につながる場面で数や数量を一般的に表現し、それを活用して考察する力を育成していきたい。

<第三問> データの活用、関数の融合問題

判断した事柄の根拠について、数学的な表現を用いて説明することに課題

1 (1)は、箱ひげ図から条件にあてはまる集団を選ぶ問題。正答率は第三問で最も高いものの、76.8%にとどまった。収集したデータを箱ひげ図に表したり、箱ひげ図からデータの分布の傾向を読み取ったりする活動を通して、箱ひげ図から必要な情報を見いだすことができるよう指導していきたい。(2)は、箱ひげ図から判断した事柄の理由を数学的な表現を用いて説明する問題。正答率は27.0%で

あり、箱ひげ図からデータの特徴は読み取れたが、数学的に表現することが不十分で部分点となっているものが見られた。目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って批判的に考察し判断する活動を通して、判断した事柄の根拠を、統計を活用しながら数学的な表現を用いて説明する力を育成していきたい。

2 (2) (7) P地点とR地点からそれぞれ出発した人がすれちがう時間を求める問題。正答率が14.8%と低かった。2分40秒という誤答が多く、二つの直線のグラフの交点に着目したが、二人の出発時間が異なるという条件を見落としたと推察される。条件から読み取れる情報は何か、式としてどう表現できるかを生徒同士で説明し合う活動を取り入れるなど、与えられた条件から問題解決に必要な情報を適切に読み取り数学的に考察する力を育成していきたい。

<第四問> 図形についての問題

見通しをもち筋道を立てて表現すること、図形を多面的に捉え考察することに課題

2 二つの三角形が合同であることを論理的に考察し表現する問題。 $\angle FAD = \angle EDB$ の根拠の表現が不十分であるものや、二つの三角形が合同であることの根拠となる事柄を誤って捉えているものが見られた。授業で証明を扱う際は、仮定から何が導かれるか、何を示せばよいかといった見通しをもつことを意識させ、飛躍がなく、筋道を立てて表現する力を育成していきたい。

3 (2) 三平方の定理や線分の比と面積の関係を活用し三角形の面積を求める問題。無答率が59.5%と高かった。図形を多面的な視点から捉え考察するような機会を設けその結果を振り返らせることで、統合的・発展的に考察する力を育成していきたい。

問題			正答率 →	← 無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135~111点 b:110~88点 c:87~51点)
第一問	1	計算 整数の加減	98.5%	0.3%	98.5%	a:100.0% b:100.0% c:95.7%
	2	計算 分数を含む四則計算	77.5%	0.8%	77.8%	a:93.2% b:84.8% c:57.5%
	3	計算 多項式の除法	74.8%	1.0%	74.8%	a:91.5% b:78.6% c:56.5%
	4	計算 式の値	73.5%	4.3%	73.7%	a:89.9% b:82.5% c:51.5%
	5	計算 因数分解	82.0%	2.0%	82.7%	a:94.6% b:85.1% c:70.1%
	6	式の決定 反比例	69.8%	4.8%	69.8%	a:96.6% b:77.2% c:39.1%
	7	多肢選択 無理数と有理数の大小	66.8%	0.5%	66.8%	a:90.6% b:73.1% c:39.9%
	8	求積 回転体の体積	58.8%	10.3%	58.8%	a:84.6% b:66.9% c:28.3%
第二問	1	(1) 求値 確率	75.0%	3.0%	75.0%	a:94.9% b:84.1% c:48.6%
		(2) 求値 確率	59.0%	8.0%	59.2%	a:81.2% b:64.1% c:35.3%
	2	(1) 求値 角の大きさ	54.3%	3.5%	54.3%	a:80.3% b:60.7% c:25.4%
		(2) 求値 弧の長さ	24.0%	23.5%	24.0%	a:53.0% b:21.4% c:2.2%
	3	(1) 求値 関数 $y = ax^2$	70.3%	7.0%	71.0%	a:94.9% b:84.1% c:37.0%
		(2) 求値 関数 $y = ax^2$	21.0%	26.8%	21.0%	a:53.0% b:13.8% c:1.5%
	4	(1) 求値 規則性	74.0%	1.5%	74.0%	a:77.8% b:75.9% c:68.8%
		(2) (ア) 求値 一次方程式	71.5%	4.5%	71.5%	a:81.2% b:75.2% c:59.4%
(イ) 求値 規則性		36.0%	14.0%	36.0%	a:48.7% b:35.9% c:25.4%	
第三問	1	(1) 多肢選択 箱ひげ図	76.8%	0.8%	76.8%	a:86.3% b:80.0% c:65.2%
		(2) 記述 箱ひげ図	27.0%	14.3%	44.8%	a:69.9% b:44.7% c:23.6%
	2	(1) 表現 一次関数	60.8%	8.3%	66.5%	a:92.7% b:68.3% c:42.4%
		(2) (ア) 求値 一次関数	14.8%	22.3%	14.8%	a:39.3% b:7.6% c:1.6%
(イ) 求値 一次関数	6.8%	31.3%	6.8%	a:18.8% b:2.8% c:0.7%		
第四問	1	求値 三角形と比	77.0%	10.5%	77.0%	a:99.2% b:84.8% c:50.0%
	2	記述 三角形の合同の証明	22.0%	17.0%	40.0%	a:70.7% b:43.1% c:10.9%
	3	(1) 求値 三角形の相似	17.3%	29.8%	17.3%	a:45.3% b:9.0% c:2.2%
		(2) 求値 三角形の面積	4.0%	59.5%	4.0%	a:12.0% b:1.4% c:0.0%
計					49.4%	a:69.5% b:51.1% c:30.6%

令和6年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題
数 学

第一問 次の1～8の問いに答えなさい。

1 $2-16$ を計算しなさい。

2 $\frac{7}{3} + \frac{2}{9} \times (-3)$ を計算しなさい。

3 $(6a^2b - 4ab^2) \div 2ab$ を計算しなさい。

4 $a = -5$ 、 $b = \frac{1}{6}$ のとき、 $2(a+7b)-8b$ の値を求めなさい。

5 $x^2-10x+21$ を因数分解しなさい。

6 y は x に反比例し、 $x = -2$ のとき $y = 9$ です。このとき、 y を x の式で表しなさい。

7 3つの数 $\sqrt{10}$ 、 $\frac{7}{\sqrt{7}}$ 、 3 の大小を、不等号を使って表したものとして正しいものを、次のア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

ア $\sqrt{10} < \frac{7}{\sqrt{7}} < 3$

イ $\sqrt{10} < 3 < \frac{7}{\sqrt{7}}$

ウ $\frac{7}{\sqrt{7}} < \sqrt{10} < 3$

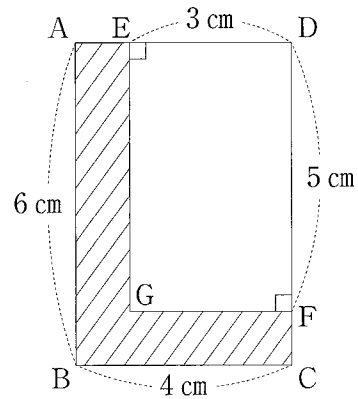
エ $\frac{7}{\sqrt{7}} < 3 < \sqrt{10}$

オ $3 < \sqrt{10} < \frac{7}{\sqrt{7}}$

カ $3 < \frac{7}{\sqrt{7}} < \sqrt{10}$

- 8 下の図のような、 $AB = 6\text{ cm}$ 、 $BC = 4\text{ cm}$ の長方形 $ABCD$ があります。辺 AD 上に $ED = 3\text{ cm}$ となる点 E をとり、辺 DC 上に $DF = 5\text{ cm}$ となる点 F をとります。また、点 E を通過して辺 AD に垂直な直線と点 F を通過して辺 DC に垂直な直線との交点を G とします。

2辺 AB 、 BC と4つの線分 CF 、 FG 、 GE 、 EA とで囲まれた図の斜線部分を、直線 DC を軸として1回転させてできる立体の体積を求めなさい。ただし、円周率を π とします。



第 二 問 次の1～4の問いに答えなさい。

- 1 1から6までの目が出るさいころが1つあります。

このさいころを2回投げて、1回目に出た目の数を a 、2回目に出た目の数を b とするとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。ただし、さいころは、どの目が出ることも同様に確からしいものとします。

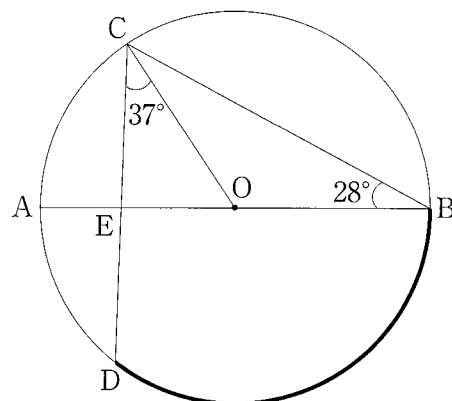
- (1) $a + b = 6$ が成り立つ確率を求めなさい。

- (2) $\frac{b+1}{a}$ の値が整数になる確率を求めなさい。

2 線分ABを直径とする円Oがあります。下の図のように、円Oの周上に、 $\angle ABC=28^\circ$ となる点Cをとり、点Cをふくまない方の \widehat{AB} 上に、 $\angle OCD=37^\circ$ となる点Dをとります。また、線分ABと線分CDとの交点をEとします。

次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) $\angle AEC$ の大きさを求めなさい。

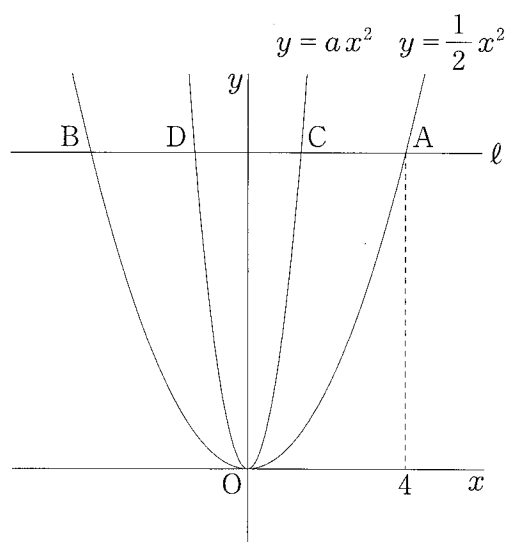


(2) $AB=6\text{ cm}$ のとき、図の太い線で示している小さい方の \widehat{DB} の長さを求めなさい。ただし、円周率を π とします。

3 下の図のように、関数 $y=\frac{1}{2}x^2$ のグラフと関数 $y=ax^2$ のグラフが、 x 軸に平行な直線 ℓ とそれぞれ2点で交わっています。関数 $y=\frac{1}{2}x^2$ のグラフと直線 ℓ との交点のうち、 x 座標が正である点をA、負である点をBとし、関数 $y=ax^2$ のグラフと直線 ℓ との交点のうち、 x 座標が正である点をC、負である点をDとします。ただし、 $a > \frac{1}{2}$ とします。

点Aの x 座標が4であるとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 点Bの座標を求めなさい。



(2) $DC=CA$ となるとき、 a の値を求めなさい。

- 4 平面上にマス目があり、その中の1つのマスに白い^{こいし}碁石が1個置いてあります。この状態から、黒い碁石と白い碁石を使って、次の【操作】をくり返し行います。

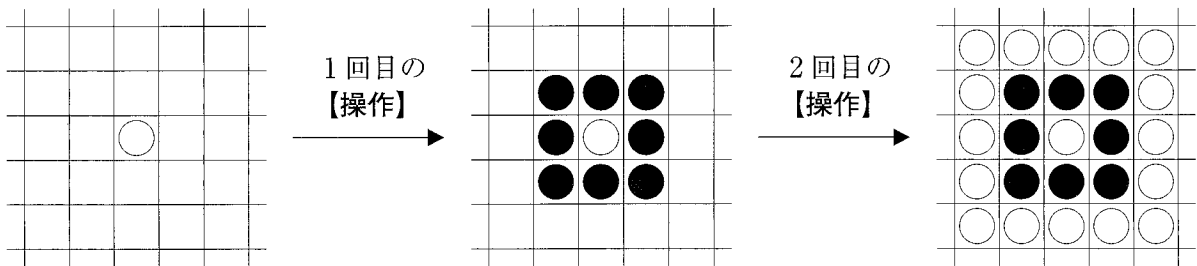
【操作】

碁石が置いてあるマスの、上、右上、右、右下、下、左下、左、左上でとなり合うすべてのマスのうち、まだ碁石が置かれていないマスに新たに碁石を置く。

奇数回目の【操作】では黒い碁石を、偶数回目の【操作】では白い碁石を新たに置くこととします。

下の図は、1つのマスに白い碁石が1個置いてある状態から、1回目の【操作】で新たに碁石を置いたあとのようすと、2回目の【操作】で新たに碁石を置いたあとのようすを示したものです。

あとの(1)、(2)の間に答えなさい。



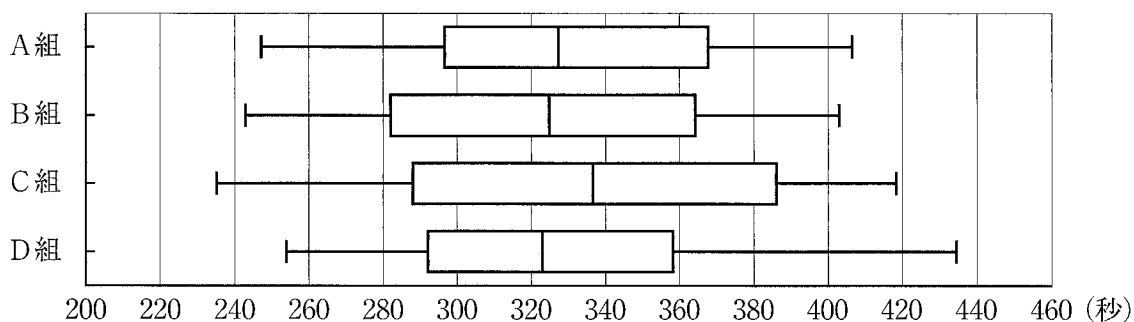
- (1) 4回目の【操作】で、新たに置く碁石は、何個ですか。
- (2) 何回目かの【操作】で、新たに置いた碁石は、88個でした。
次の(ア)、(イ)の間に答えなさい。
- (ア) この【操作】は、何回目の【操作】ですか。

(イ) このとき、黒い碁石は、平面上に全部で何個置いてありますか。

第三問 洋平さんと明さんの学校では、毎年、1200 mを走る長距離走大会が行われています。
次の1、2の問いに答えなさい。

- 1 数学の授業で、昨年度の長距離走大会の記録をもとにかかれた箱ひげ図から読みとれることについて、話し合いをすることになりました。図Iは、昨年度のA組、B組、C組、D組に在籍していたそれぞれ40人全員の、記録の分布のようすを箱ひげ図に表したものです。洋平さんと明さんは、図Iを見ながら、の会話をしています。
あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

図I



洋平さん：数値が小さい方が速い記録ということになるから、4つの組の中で最も記録が速かった生徒がいるのは 組だね。ほかにわかることはないかな。

明さん：各組の人数は40人だから、**中央値**に注目すると、4つの組全体で少なくとも80人は340秒以内の記録だったことがわかるよ。

洋平さん：なるほど。昨年度の長距離走大会の記録について、箱ひげ図から、いろいろなことが読みとれるね。

明さん：今年度の長距離走大会の目標設定の参考になるね。

- (1) 会話の にあてはまる正しいものを、A、B、C、Dの中から1つ答えなさい。

- (2) 明さんが、図Iから会話の下線部のように判断した理由を、**中央値**という語句を用いて、根拠となる人数を示しながら、説明しなさい。

2 図Ⅱのような、P地点からQ地点を通ってR地点まで1本のまっすぐな道路で結ばれたコースがあります。P地点を基準とし、P地点からQ地点までの距離は900 m、P地点からR地点までの距離は1200 mです。洋平さんと明さんは、長距離走大会に向けての練習として、このコースを使って、下の の計画でそれぞれ走ることになりました。

あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

図Ⅱ



【洋平さんの計画】

P地点からR地点に向かって止まることなく走る。P地点からQ地点までは分速200 mの一定の速さで走り、Q地点からR地点までは分速300 mの一定の速さで走る。

【明さんの計画】

R地点からP地点に向かって止まることなく走る。R地点からP地点まで分速250 mの一定の速さで走る。

(1) 洋平さんが計画どおりに走るとき、P地点を出発してからR地点に着くまでの、時間とP地点から洋平さんまでの距離との関係を表すグラフを、**解答用紙の図**にかき入れなさい。

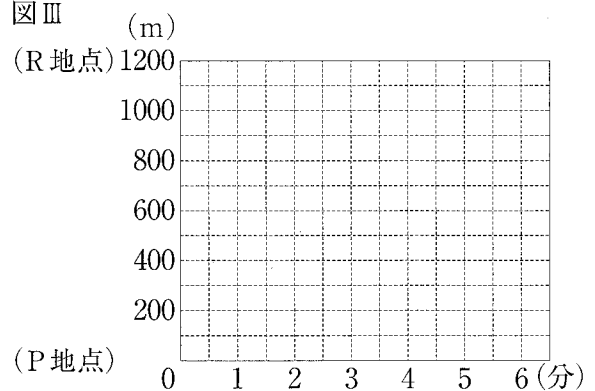
(2) 洋平さんがP地点を出発し、遅れて明さんがR地点を出発しました。2人はそれぞれ計画どおりに走り、途中ですれちがって、洋平さんがR地点に到着してから30秒後に明さんがP地点に到着しました。

次の(ア)、(イ)の問いに答えなさい。

(ア) 2人がすれちがったのは、洋平さんがP地点を出発してから何分何秒後ですか。

なお、図Ⅲを利用してもかまいません。

図Ⅲ



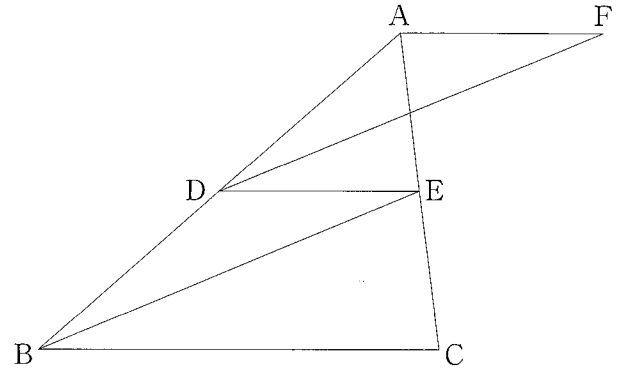
(イ) P地点から明さんまでの距離が300 mであるとき、P地点から洋平さんまでの距離は何mですか。

第四問 図Iのような、 $BC=10\text{ cm}$ 、 $AC < BC$ である $\triangle ABC$ があります。2辺 AB 、 AC の中点をそれぞれ D 、 E とし、点 B と点 E 、点 D と点 E をそれぞれ結びます。また、点 A を通過して線分 DE に平行な直線上に、 $AF=DE$ となる点 F を、直線 AC に対して点 D と反対側にとり、点 D と点 F を結びます。

次の1～3の問いに答えなさい。

1 線分 DE の長さを求めなさい。

図I



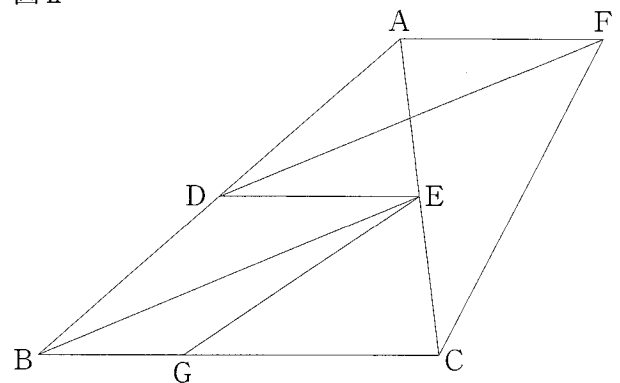
2 $\triangle ADF \equiv \triangle DBE$ であることを証明しなさい。

3 図IIは、図Iにおいて、点 C と点 F を結び、辺 BC 上に、点 G を $\angle CGE = \angle ACF$ となるようにとったものです。

$AB=12\text{ cm}$ 、 $AC=8\text{ cm}$ のとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 線分 CG の長さを求めなさい。

図II



(2) 点 A と点 G を結びます。 $\triangle AGE$ の面積を求めなさい。

備考欄	配 点		第 一 問	
	26			
	3	1		-14
	3	2		$\frac{5}{3}$
	3	3		$3a-2b$
	3	4		-9
	3	5		$(x-3)(x-7)$
	3	6		$y = -\frac{18}{x}$
	4	7		工
	4	8		51π [cm ³]

備考欄	配 点		第 二 問	
	32			
	3	(1)		$\frac{5}{36}$
	4	(2)		$\frac{7}{18}$
	3	(1)		93 [度]
	5	(2)		$\frac{13}{6}\pi$ [cm]
	3	(1)		(-4, 8)
	5	(2)		$\frac{9}{2}$
	3	(1)		32 [個]
	3	4	(ア)	11 [回目]
	3	(2)	(イ)	288 [個]

備考欄	配 点		第 三 問	
	22			
	3	(1)		C
採点基準と配点は各学校で定める。	5	(2)		(例) すべての組の中央値が340秒より小さく、各組において、340秒以内の記録であった生徒が少なくとも20人ずついることがわかるから。
採点基準と配点は各学校で定める。	4	(1)		
	4	(ア)	3 [分]	20 [秒後]
	6	(イ)		990 [m]

備考欄	配 点		第 四 問	
	20			
	3	1		5 [cm]
採点基準と配点は各学校で定める。	6	2		(例) $\triangle ADF$ と $\triangle DBE$ において 仮定から $AF = DE$ … ① 点Dは辺ABの中点であるから $AD = DB$ … ② 仮定から $AF \parallel DE$ 平行線の同位角は等しいから $\angle FAD = \angle EDB$ … ③ ①、②、③より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから $\triangle ADF \equiv \triangle DBE$
	5	(1)		$\frac{32}{5}$ [cm]
	6	(2)		$\frac{24\sqrt{7}}{5}$ [cm ²]

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

満点 100 点

1 出題のねらいと内容

自然の事物・現象についての知識及び観察、実験などに関する技能並びに科学的に探究する力を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、ヒトの刺激に対する反応、物質の分類、積乱雲と雷を素材とし、自然の事物・現象に関する基本的な知識及び技能並びに自然の事物・現象の規則性や関係性を思考、判断、表現する力をみようとした。

第二問では、金星と火星の観察を通して、惑星に関する知識及び公転軌道上の地球との位置に着目して金星や火星の見え方について思考、判断する力をみようとした。

第三問では、硝酸と水酸化カリウム水溶液の中和の実験や再結晶の実験を通して、中和

に関する知識及び水溶液中のイオンの数、硝酸カリウムの溶解度について思考、判断、表現する力をみようとした。

第四問では、モモの果実のでき方に関する会話や果実の果肉の色に関する資料を通して、植物の生殖に関する知識及び植物の成長と殖え方、遺伝の規則性について思考、判断、表現する力をみようとした。

第五問では、回路に流れる電流について調べる実験を通して、回路に関する基本的な知識及び技能並びに電熱線で発生する電力量と時間の関係について思考、判断、表現する力をみようとした。

2 結果の考察

<第一問> 4領域の基礎的・基本的事項についての問題

自然の事物・現象の基本的な知識及び技能は定着しているが、活用に課題

2 (2) ろ過の操作を表した図から適切なものを選ぶ問題。正答率は92.3%であった。ろ過を適切に行うためのポイントを捉えることができしており、基本的な実験の技能が定着していると考えられる。

3 (4)② 音の伝わる速さと、雷の音が聞こえるまでの時間から、雷までのおおよその距離を求めて選ぶ問題。b層とc層で差が大きかった。音の伝わる速さ340m/sを40秒で割ることで求められる8.5kmを選んだ割合が21.0%であり、速さと時間から距離を求めることができていない。習得した知識及び技能を活用できるように、他教科等との関連を図りながら、観察や実験で得られたデータを分析して解釈

する学習活動の時間を十分確保したい。

4領域の基本的な知識及び技能に関する問題の得点率は70%を超えており、定着が見られる。知識及び技能を活用して科学的に探究する活動の充実を図りたい。

<第二問> 地学領域についての問題

観察結果を基に、時間的・空間的な視点で捉え、思考・判断することに課題

2 金星を観察したときの金星の見かけの形を選ぶ問題。正答率は47.3%であった。金星の見かけの形の変化を、金星が地球の内側の軌道を公転していることと関連付けて考察することに課題がある。モデル実験やシミュレーション等により、地球と金星の位置関係を俯瞰したり、地球からの視点で観察したりするなど、見え方を公転と関連付けて考察することで、理解につなげたい。

3 金星と火星が見える位置を説明したものを選ぶ問題。正答率は40.0%であり、金星と火星が別の方向へ移動するものを選んだ割合は44.3%であった。内惑星と外惑星の違いにかかわらず、日周運動によって両方とも同じ方向に移動することが理解できていない。天体の見かけの動きについての観察や実験の結果を基に、見え方の変化を地球の自転と関連付けて考察することで、理解を深めさせたい。

＜第三問＞化学領域についての問題

基本的な知識の活用と、実験の結果から量的な関係を思考することに課題

- 2 中和の化学反応式に当てはまる化学式を答える問題。a・b層の得点率は80%を超えているがc層は43.2%であった。c層の43.5%の解答は、原子の種類や総数が、化学変化の前後で異なっていた。化学変化では原子の組合せのみが変わるということを理解できていない。原子や分子等のモデルを用いて視覚的に捉えるなどの工夫により、化学変化を粒子の概念で捉えられるようにしたい。
- 5 0℃の水溶液中に溶けている溶質の質量を、溶解度を基に求める問題。正答率は4.3%、無答率が23.8%であった。溶解度を活用して、溶液中の溶質の質量を計算できていない。誤答には、溶質、溶媒、溶液の質量を実験結果と条件から正しく捉えられず、誤って計算したものが多かった。実験の結果を分析して解釈する活動を充実させることで、量的な関係を整理して考察できるよう指導したい。

＜第四問＞生物領域についての問題

実験・観察の結果や資料を基に科学的に考察し、表現することに課題

- 2 受粉したあと受精卵ができるまでの過程を

説明した文を選ぶ問題。正答率は86.0%であった。花粉から花粉管が伸びる現象及び卵細胞が胚珠の中にあることについての基本的な知識が定着していると考えられる。

- 3 (2) 果肉の遺伝子の組み合わせが、種子と異なるaaになった理由を論述する問題。得点率は12.9%であった。受精によって果肉の遺伝子がaaになるという解答が23.5%であった。めしべの一部が成長して果肉になる際の体細胞分裂と遺伝子の組合せについて、資料を基に考察できていない。探究の過程において、観察、実験の結果を分析し解釈した内容について意見交換し、科学的な根拠に基づいて議論し、考察が妥当であるかを検討するなど、生徒の主体的な取組を通して、科学的に探究する力を育成したい。

＜第五問＞物理領域についての問題

基本的な知識及び技能の定着と、関係を用いて量的に捉えることに課題

- 3 (1) 電熱線を用いた直列回路に、電流計と電圧計を入れた回路図をかく問題。電流計を正しくかけていた割合は75.8%であったが、そのうち電圧計の接続方法の誤答が32.5%であった。回路を流れる電流や加わる電圧を調べる実験の際に、電圧計の接続方法についての知識及び技能、回路図のかき方について定着させたい。
- 3 (2) 電熱線で消費する電力量を求める問題。正答率は27.8%であった。誤答には、電力量を求めるために必要な電熱線a・bに加わる電圧を使って計算していないものが多く見られた。グラフを用いて回路を流れる電流と加わる電圧の規則性を見だし、電流・電圧と電力の関係、電力・時間と電力量の関係を、日常使われている電力量と関連付けて、エネルギーを量的に捉えられるよう指導したい。

問題			正答率 →	← 無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135~111点 b:110~88点 c:87~51点)	
第一問	1	(1) 多肢選択	生物 (刺激への反応)	81.8%	0.0%	81.8%	a: 97.4% b: 88.3% c: 61.6%
		(2) 多肢選択	生物 (感覚器官)	88.8%	0.0%	88.8%	a: 98.3% b: 92.4% c: 76.8%
		(3) 多肢選択	生物 (神経系の伝達)	33.8%	0.3%	33.8%	a: 26.5% b: 29.0% c: 44.9%
	2	(1) 語句記述	化学 (重要語句)	77.0%	3.3%	77.8%	a: 100.0% b: 90.3% c: 45.9%
		(2) 多肢選択	化学 (ろ過の操作)	92.3%	0.0%	92.3%	a: 100.0% b: 95.2% c: 82.6%
		(3) 多肢選択	化学 (物質の区別)	54.3%	0.0%	54.3%	a: 73.5% b: 57.2% c: 34.8%
	3	(1) 語句記述	地学 (重要語句)	69.0%	5.3%	74.9%	a: 95.4% b: 80.7% c: 51.5%
		(2) 多肢選択	地学 (積乱雲の特徴)	88.0%	0.0%	90.8%	a: 95.4% b: 90.3% c: 87.4%
		(3) 多肢選択	物理 (霧の現象)	94.0%	0.0%	94.0%	a: 99.2% b: 95.9% c: 87.7%
		(4)	① 論述	物理 (音の伝わる速さ)	87.8%	2.8%	88.6%
② 多肢選択			物理 (音の伝わる速さと距離)	60.5%	0.0%	60.5%	a: 85.5% b: 64.1% c: 35.5%
③ 多肢選択			地学 (風向きを表し方)	51.5%	0.0%	51.5%	a: 69.2% b: 54.5% c: 39.8%
第二問	1	語句記述	地学 (重要語句)	61.5%	1.8%	64.6%	a: 79.8% b: 68.7% c: 47.3%
	2	多肢選択	地学 (金星の見え方)	47.3%	0.0%	47.3%	a: 63.3% b: 51.7% c: 29.0%
	3	多肢選択	地学 (金星と火星の自転運動)	40.0%	0.0%	40.0%	a: 53.0% b: 40.7% c: 28.3%
	4	(1) 多肢選択	地学 (金星の年周運動)	40.5%	0.5%	40.5%	a: 50.4% b: 38.6% c: 34.1%
		(2) 多肢選択	地学 (火星の年周運動)	47.5%	0.0%	47.5%	a: 57.3% b: 48.3% c: 38.4%
第三問	1	語句記述	化学 (BTB溶液と液性)	92.0%	0.3%	92.0%	a: 100.0% b: 96.6% c: 80.4%
	2	語句記述	化学 (化学式)	72.3%	2.8%	72.8%	a: 95.7% b: 82.5% c: 43.2%
	3	多肢選択	化学 (中和でのイオンの数)	59.0%	0.8%	59.0%	a: 88.0% b: 60.0% c: 33.3%
	4	論述	化学 (再結晶の原理)	25.8%	7.3%	36.3%	a: 44.7% b: 39.5% c: 25.9%
	5	計算	化学 (溶液に溶けている物質)	4.3%	23.8%	4.3%	a: 6.0% b: 4.8% c: 2.2%
第四問	1	多肢選択	生物 (植物の分類)	71.3%	0.0%	71.3%	a: 91.5% b: 75.2% c: 50.0%
	2	多肢選択	生物 (受粉後の過程)	86.0%	0.0%	86.0%	a: 98.3% b: 95.9% c: 65.2%
	3	(1) 多肢選択	生物 (受粉と遺伝子)	65.5%	0.0%	65.5%	a: 88.0% b: 69.7% c: 42.0%
		(2) 論述	生物 (形質と遺伝子)	10.8%	20.0%	12.9%	a: 28.0% b: 9.7% c: 3.6%
	4	多肢選択	生物 (遺伝の規則性)	38.0%	0.5%	38.0%	a: 36.8% b: 37.9% c: 39.1%
第五問	1	多肢選択	物理 (電流と抵抗)	54.8%	0.5%	63.8%	a: 83.2% b: 61.8% c: 49.5%
	2	計算	物理 (電流の大きさ)	39.3%	7.0%	39.3%	a: 75.2% b: 38.6% c: 9.4%
	3	(1) 作図	物理 (回路図)	43.3%	6.8%	49.3%	a: 82.3% b: 51.5% c: 18.8%
		(2) 計算	物理 (電力量)	27.8%	8.3%	27.8%	a: 64.1% b: 22.1% c: 2.9%
		(3) 計算	物理 (電力量と時間の比)	7.3%	13.0%	7.3%	a: 22.2% b: 2.1% c: 0.0%
計					56.4%	a: 71.5% b: 58.5% c: 41.2%	

令和 6 年度
 公立高等学校入学者選抜学力検査問題
 理 科

第一問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 図1のように、悟さんは学校の廊下で、友人の春樹さんの姿を見て、春樹さんに手をあげてあいさつをしました。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。



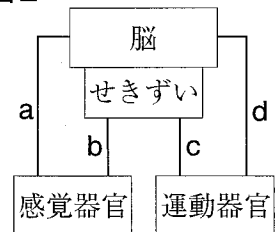
- (1) 悟さんが、春樹さんの姿を見て、手をあげたように、刺激に対して意識して起こした反応の例として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 外に出たら肌寒く感じたので、上着を着た。
 - イ 熱いものにふれてしまい、とっさに手を引っこめた。
 - ウ 顔に向かってボールが飛んできたので、思わず目を閉じた。
 - エ 口に食べ物を入れたら、だ液が出た。

(2) ヒトは、感覚器官である目で光を刺激として受けとっています。目のように、ヒトの感覚器官であるものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 筋肉 イ 心臓 ウ 胃 エ 鼻

(3) 図2は、ヒトの神経を伝わる信号の経路を表した模式図です。図2の中のa～dの実線(——)は、感覚器官や運動器官と、脳やせきずいとをつなぐ神経を表しています。悟さんが、感覚器官である目で春樹さんの姿を見てから、運動器官である手をあげるといふ反応を起こす信号が伝わる経路として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

図2



- ア 感覚器官 → a → 脳 → d → 運動器官
- イ 感覚器官 → b → せきずい → c → 運動器官
- ウ 感覚器官 → a → 脳 → せきずい → c → 運動器官
- エ 感覚器官 → b → せきずい → 脳 → せきずい → c → 運動器官

2 恵子さんは、理科の授業で、3種類の白い粉末A、B、Cがそれぞれ何の物質であるかを調べるための実験を行いました。あとの(1)~(3)の問いに答えなさい。ただし、3種類の粉末A~Cは、塩化ナトリウム、デンプン、ショ糖のいずれかです。

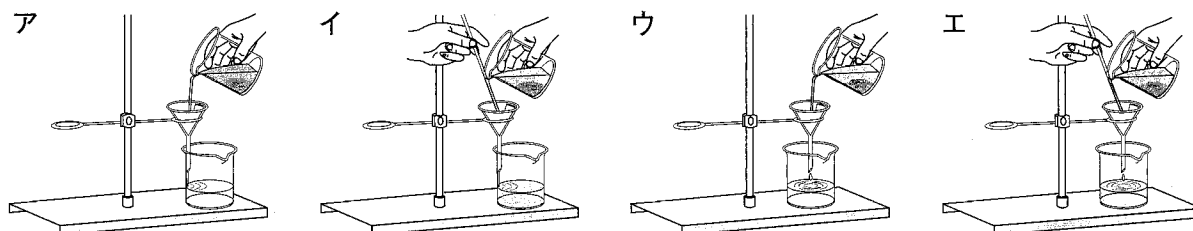
〔実験〕

- ① 粉末A~Cを、それぞれ別のアルミニウムはくの皿にとり、ガスバーナーで加熱したときの様子を観察した。
- ② 粉末A~Cを10gずつはかりとり、それぞれ別のビーカーに入れ、各ビーカーに50cm³の水を加えて、よくかき混ぜたときの様子を観察した。
- ③ ①と②の結果を、表にまとめた。

表

	粉末A	粉末B	粉末C
加熱したときの様子	燃えて炭になった	変わらなかった	とけたあと燃えて炭になった
水を加え、よくかき混ぜたときの様子	とけなかった	全てとけた	全てとけた

- (1) ①で、粉末Aや粉末Cを加熱すると炭になったのは、粉末Aや粉末Cに炭素がふくまれていたからです。粉末Aや粉末Cのように、炭素をふくむ物質を何というか、答えなさい。
- (2) ②で、恵子さんは、粉末が水にとけなかった場合に、ろ過で粉末と水を分けようと考えました。ろ過のしかたを表した図として、最も適切なものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

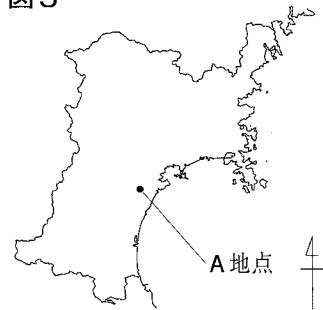


- (3) 恵子さんは、表をもとに、粉末Bと粉末Cが何の物質であるかを考えました。粉末Bと粉末Cの物質の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|-----------------|---------------|
| ア 粉末B - デンプン | 粉末C - 塩化ナトリウム |
| イ 粉末B - デンプン | 粉末C - ショ糖 |
| ウ 粉末B - 塩化ナトリウム | 粉末C - デンプン |
| エ 粉末B - 塩化ナトリウム | 粉末C - ショ糖 |

3 夏のある日の夕方、**図3**の宮城県内の**A**地点にある建物の中にいた志穂さんは、雷の音がくり返し聞こえてきたので、窓の外を見たところ、南西の方角に雷の光を発する積乱雲が見えました。次の(1)~(4)の問いに答えなさい。

図3



(1) 積乱雲などの雲は、空気が冷やされて空気中にふくむことのできる最大質量をこえた水蒸気が水滴などになり発生します。1 m³の空気がふくむことのできる、水蒸気の最大質量を何というか、答えなさい。

(2) 積乱雲の発達のかたと積乱雲をもたらす雨の降り方について述べた次の文の内容が正しくなるように、①の**ア**、**イ**、②の**ウ**、**エ**からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

積乱雲は、あたたかい空気が① (**ア** ゆっくりと **イ** 急激に) おし上げられ、強い上昇気流が生じることで発達し、② (**ウ** 強い **エ** 弱い) 雨が短時間に降ることが多い。

(3) 雷のように、たまった電気が一瞬で流れ出したり、空間を移動したりする現象を何というか、最も適切なものを、次の**ア**~**エ**から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア** 放電 **イ** 送電 **ウ** 帯電 **エ** 発電

(4) 志穂さんは、雷の光を発する積乱雲が上空をふく風によって近づいてくるかどうかを推測することにしました。はじめに、この積乱雲の現在の位置を、ウェブサイト調べ、**図4**のように、地図に**×**と**A**地点の位置をかきこみました。次に、雷のようすをビデオカメラで撮影し、撮影した動画を用いて、**a** 雷の光が見えてから雷の音が聞こえるまでの時間を測定したところ、40秒でした。さらに、動画を撮影した15分後に、同じ方法で、雷の光が見えてから雷の音が聞こえるまでの時間を測定したところ、**b** 30秒でした。 次の①~③の問いに答えなさい。

図4



① 雷の光が見えたあとに、雷の音が聞こえる理由を、光の速さと空気中で音の伝わる速さとを比べて、簡潔に述べなさい。

② 下線部**a**のとき、**A**地点から雷が発生しているところまでのおよその距離として、最も適切なものを、次の**ア**~**エ**から1つ選び、記号で答えなさい。ただし、空気中での音の伝わる速さを340m/sとします。

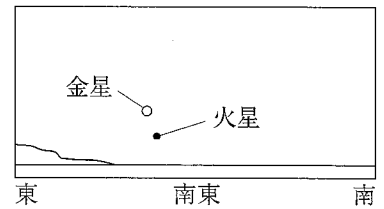
- ア** 0.9 km **イ** 1.4 km **ウ** 8.5 km **エ** 14 km

③ 志穂さんは、下線部**b**の結果から、雷が発生している積乱雲が近づいていることを推測することができました。このとき、上空をふく風の向きとして、最も適切なものを、次の**ア**~**エ**から1つ選び、記号で答えなさい。ただし、雷が発生している積乱雲は、上空をふく風によってのみ、動くものとします。

- ア** 北の風 **イ** 東の風 **ウ** 南西の風 **エ** 北西の風

第二問 ある年の2月22日の午前5時頃、宮城県内のある海岸から金星と火星を肉眼や天体望遠鏡で観察しました。図1は、そのときの金星と火星の位置を記録したものです。図2は、図1のときの北極星側から見た太陽、金星、地球、火星の位置を表したものです。次の1～4の問いに答えなさい。

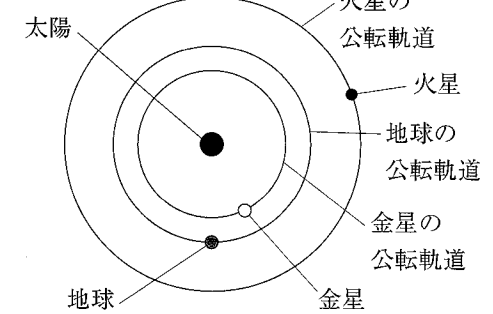
図1



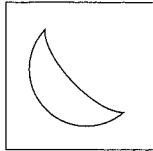
1 太陽のまわりを決まった軌道で公転している天体のうち、ある程度の大きな質量と大きさをもつ、金星や火星をふくむ太陽系の8つの天体を何というか、答えなさい。

2 図1の金星を、天体望遠鏡を使って観察し、肉眼で観察したときの向きに直して記録したときの金星の形として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

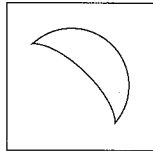
図2



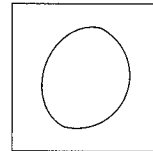
ア



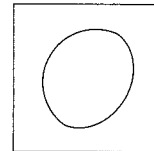
イ



ウ



エ



3 図1を記録してから、1時間後に肉眼で見たときの金星と火星の位置について述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 金星と火星ともに東の方角へ動き、高度が低くなる。

イ 金星と火星ともに南の方角へ動き、高度が高くなる。

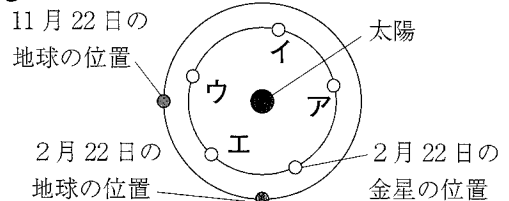
ウ 金星は東の方角へ動き、高度が低くなり、火星は南の方角へ動き、高度が高くなる。

エ 金星は南の方角へ動き、高度が高くなり、火星は東の方角へ動き、高度が低くなる。

4 2月22日の9か月後である、11月22日の午前5時頃に、同じ場所で、金星と火星を観察しようとしたが、金星は観察できませんでした。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

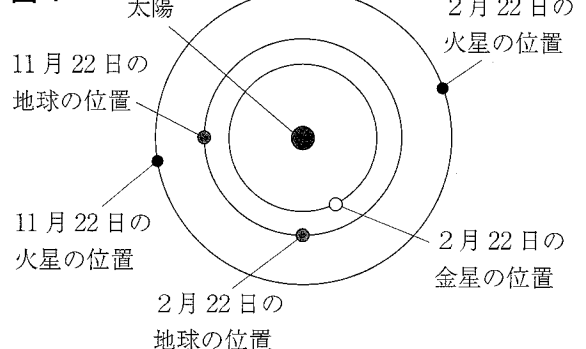
(1) 11月22日の金星の位置として、最も適切なものを、図3のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。ただし、地球の公転周期を1年、金星の公転周期を0.62年とします。

図3



(2) 図4は、11月22日の地球と火星の位置を図2に加えたものです。天体望遠鏡を使って、2月22日と同じ倍率で火星を観察したときの火星の見え方について述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

図4



ア 2月22日に観察したときよりも見かけの大きさが大きくなり、半分以上欠けて見える。

イ 2月22日に観察したときよりも見かけの大きさが小さくなり、半分以上欠けて見える。

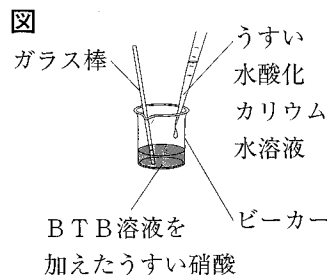
ウ 2月22日に観察したときよりも見かけの大きさが大きくなり、ほぼ丸い形に見える。

エ 2月22日に観察したときよりも見かけの大きさが小さくなり、ほぼ丸い形に見える。

第三問 硝酸と水酸化カリウム水溶液の中和について調べた実験Ⅰと、硝酸と水酸化カリウム水溶液の中和で生じる塩である硝酸カリウムの再結晶について調べた実験Ⅱについて、あとの1～5の間に答えなさい。ただし、BTB溶液を加えたときの水溶液の濃度の変化は考えないものとします。

〔実験Ⅰ〕

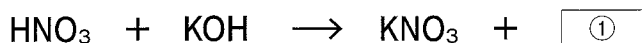
- ① うすい硝酸と、うすい水酸化カリウム水溶液を、それぞれ別の試薬びんに用意した。
- ② うすい硝酸が入っている試薬びんから、うすい硝酸を10cm³はかりとり、ビーカーに入れ、BTB溶液を数滴加え、よくかき混ぜたところ、水溶液の色は黄色になった。
- ③ 図のように、②のビーカーにうすい水酸化カリウム水溶液を5cm³ずつ加え、ガラス棒でよくかき混ぜ、色の変化を調べると、20cm³加えたところで、混ぜた水溶液の色が緑色に変化した。
- ④ ③に続けて、うすい水酸化カリウム水溶液を5cm³加えたところで、混ぜた水溶液の色が青色に変化した。
- ⑤ ④に続けて、うすい水酸化カリウム水溶液を5cm³加えたが、混ぜた水溶液の色は青色から変化しなかった。



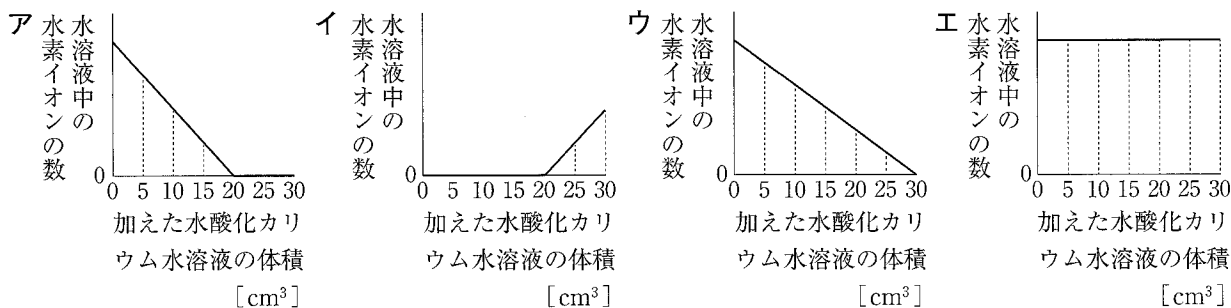
〔実験Ⅱ〕 硝酸カリウムを、40℃の水に全てとかし、硝酸カリウム水溶液をつくった。つくった水溶液の質量をはかったところ、54.0gだった。つくった水溶液から硝酸カリウムを結晶としてとり出すために、水溶液の温度を40℃から0℃に下げたところ、15.5gの結晶が出てきた。

1 実験Ⅰの④で、水溶液の色が青色に変化したことから、水溶液は何性を示しているか、答えなさい。

2 硝酸と水酸化カリウム水溶液の中和を化学反応式で表すとき、次の①にあてはまる化学式を答えなさい。



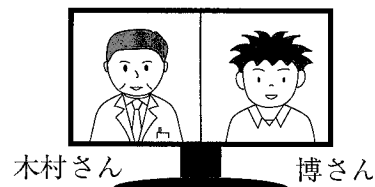
3 実験Ⅰで、硝酸10cm³を入れたビーカーに水酸化カリウム水溶液を5cm³ずつ加えていき、30cm³まで加えたときの「加えた水酸化カリウム水溶液の体積」と「水溶液中の水素イオンの数」との関係を表したグラフとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



4 実験Ⅱで、水溶液の温度を下げると、硝酸カリウムの結晶が出てくる理由を、溶解度という語句を用いて、簡潔に述べなさい。

5 実験Ⅱでつくった硝酸カリウム水溶液を0℃にしたとき、水溶液中にとけている溶質は何gか、求めなさい。ただし、硝酸カリウムの溶解度は、水100gに対して0℃で13.3gであるものとし、計算結果は、小数第2位を四捨五入しなさい。

第四問 博さんは、モモの果実の断面が白色のモモと黄色のモモがあることに興味をもち、理科の自由研究でモモの果実について調べることになりました。博さんは、インターネットを利用して、農業研究所でモモの研究をしている木村さんと話しています。次は、博さんと木村さんの会話と木村さんから送られてきた資料です。これを読んで、あとの1～4の問いに答えなさい。



モモの果実の断面は、白色のものだけだと思っていたら、黄色のものもあるんですね。果実の断面が黄色のモモは、特別な種類のモモなのですか。



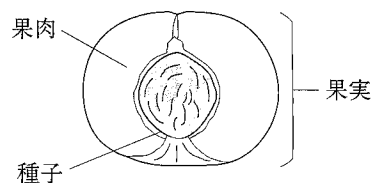
博さん



木村さん

黄色のモモは、特別なモモではありません。モモにはいろいろな品種があり、果肉の部分が白色ではなく、黄色のものもあります。果肉とは、ふだん、皮をむいて食べている部分のことです。図1は、モモの果実の断面の模式図で、果実は、主に果肉と種子からできています。

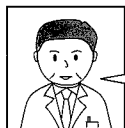
図1 モモの果実の断面（模式図）



果肉が黄色のモモの果実のでき方は、白色のモモとは違うのですか。



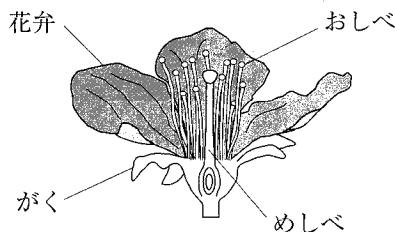
博さん



木村さん

どの品種も、果実のでき方は同じです。図2は、一般的なモモの花の断面の模式図です。モモは、①被子植物なので、モモの花のめしべには、②受粉したあと、受精卵ができ、成長すると果実となる部分があります。果肉の色は、遺伝で決まるのですが、果肉の色に関する資料があるので、あとで送ります。

図2 モモの花の断面（模式図）



〔資料〕

モモの果肉の色は、白色が顕性形質、黄色が潜性形質である。果肉の色を決める遺伝子を、白色はA、黄色はaと表すこととする。

図3のように、遺伝子の組み合わせがAAの純系の個体がつくった花粉を、遺伝子の組み合わせがaaの、ある品種の純系の個体のめしべに受粉させ、できた果実Pの世代の果肉の色と個数を調べると、図4のように、全て黄色だった。

果実Pの種子をまき、まいた種子からできた個体で自家受粉させ、果実Qの世代を得ると、果肉の色は全て白色となった。

図3

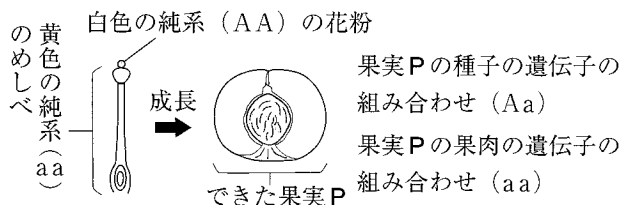


図4

果実Pの世代の果肉の色と個数

白色	黄色
0 [個]	36 [個]

(「岡山県農業研報4」より作成)

1 下線部①について、モモと同じように、被子植物に分類されるものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア ゼニゴケ イ スギナ ウ アブラナ エ イチョウ

2 下線部②について、受粉したあと、受精卵ができるまでの過程を述べたものとして、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 師管が胚珠へと伸びていき、卵細胞が胚珠の中にある精細胞と受精して、受精卵ができる。
- イ 師管が胚珠へと伸びていき、精細胞が胚珠の中にある卵細胞と受精して、受精卵ができる。
- ウ 花粉管が胚珠へと伸びていき、卵細胞が胚珠の中にある精細胞と受精して、受精卵ができる。
- エ 花粉管が胚珠へと伸びていき、精細胞が胚珠の中にある卵細胞と受精して、受精卵ができる。

3 博さんは、資料を読み、図4で果実Pの世代の果肉の色が全て潜性形質の黄色になったことに疑問をもち、その理由を考えることにしました。そこで、図3を見直したところ、できた果実Pの種子の遺伝子の組み合わせと果肉の遺伝子の組み合わせが異なっていることに気がきました。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 果実Pの種子の遺伝子の組み合わせがAaとなる理由として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 体細胞分裂によってつくられた、遺伝子Aをもつ精細胞と遺伝子aをもつ卵細胞が受精し、受精卵の中で対になるから。
- イ 体細胞分裂によってつくられた、遺伝子aをもつ精細胞と遺伝子Aをもつ卵細胞が受精し、受精卵の中で対になるから。
- ウ 減数分裂によってつくられた、遺伝子Aをもつ精細胞と遺伝子aをもつ卵細胞が受精し、受精卵の中で対になるから。
- エ 減数分裂によってつくられた、遺伝子aをもつ精細胞と遺伝子Aをもつ卵細胞が受精し、受精卵の中で対になるから。

(2) 果実Pの世代の果肉の遺伝子の組み合わせがaaになった理由を、簡潔に述べなさい。

4 博さんは、果実Qの世代の果実から得られた多数の種子をそれぞれまいて、成長した個体の花のめしべに、遺伝子の組み合わせがaaである純系の個体の花粉を受粉させたときに得られる果実の果肉の色について考えました。博さんの考えた交配で得られる果実の果肉の色は、白色と黄色で、どのような個数の比になると予想されるか、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 白色：黄色 = 1 : 3 イ 白色：黄色 = 3 : 1
- ウ 白色：黄色 = 1 : 1 エ 白色：黄色 = 0 : 1

第五問 回路に流れる電流について調べた次の実験Ⅰ、Ⅱについて、あとの1～3の問いに答えなさい。

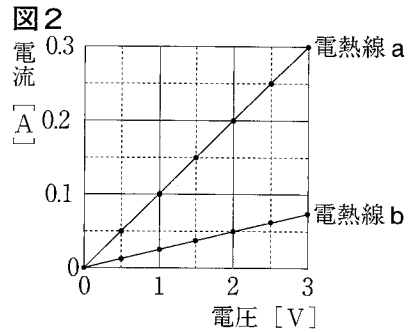
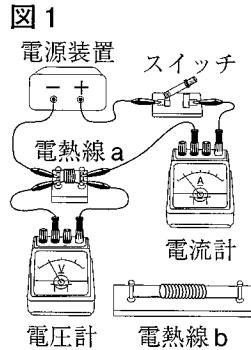
〔実験Ⅰ〕

① 図1のように、電源装置、スイッチ、電流計、電熱線a、電圧計を導線でつなぎ、回路をつくった。

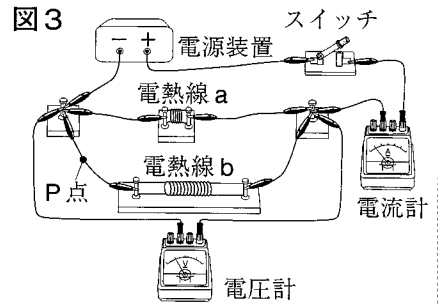
② 図1の回路のスイッチを入れ、電熱線aに加わる電圧を0Vから3Vまで0.5Vずつ変化させ、回路に流れる電流の大きさをそれぞれ測定した。

③ ①の電熱線aを電熱線bにかえ、②と同様の操作で電流の大きさを測定した。

④ ②と③の結果をもとに、電圧と電流の大きさの関係をグラフにまとめたところ、図2のようになった。



〔実験Ⅱ〕 図3のように、電源装置、スイッチ、電流計、電圧計、実験Ⅰで用いた電熱線a、bを導線でつないで、回路をつくった。図3の回路のスイッチを入れ、電圧計の値が2Vになるようにしたところ、電流計の値は0.25Aを示した。

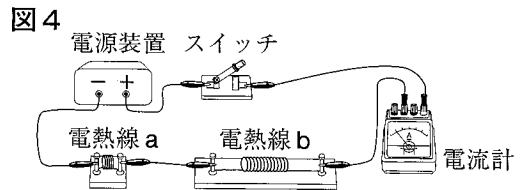


1 実験Ⅰ、Ⅱの結果からわかることについて述べた次の文の内容が正しくなるように、①のアイ、②のウ、エからそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

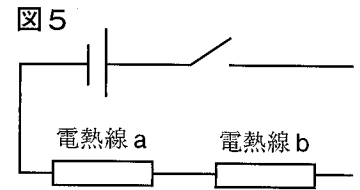
電熱線aは、電熱線bよりも電流が流れ① (ア やすく イ にくく)、図3の回路全体の抵抗の大きさは、電熱線aの抵抗の大きさよりも② (ウ 大きい エ 小さい)。

2 実験Ⅱにおいて、P点を流れる電流の大きさは何Aか、求めなさい。

3 図4のように、電源装置、スイッチ、電流計、実験Ⅰで用いた電熱線a、bを導線でつないで、回路をつくりました。次の(1)～(3)の問いに答えなさい。



(1) 図5は、図4の回路を回路図にしたものの一部です。電熱線bに加わる電圧の大きさを調べるためには、図4において、どのように電圧計をつなげばよいか、電流計と電圧計の電気用図記号を解答用紙の図にかき入れて、図5の回路図を完成させなさい。



(2) 図4の回路のスイッチを入れ、0.1Aの電流を5分間流したとき、電熱線a、bで消費する電力量の合計は何Jか、求めなさい。

(3) 図4の回路のスイッチを入れ、実験Ⅱと同じように電流計の値が0.25Aになるようにしました。実験Ⅱでの電熱線a、bが消費する電力量の合計と、図4の回路で電熱線a、bが消費する電力量の合計が等しくなるようにするとき、実験Ⅱで回路に電流を流す時間と、図4の回路に電流を流す時間の比を、最も簡単な整数の比で表しなさい。

備考欄	配点	第一問	
	36		
	3	(1)	ア
	3	1 (2)	エ
	3	(3)	ウ
	3	(1)	有機物
	3	2 (2)	イ
	3	(3)	エ
	3	(1)	飽和水蒸気量
	3	(2)	①(イ) ②(ウ)
	3	(3)	ア
	3	3 ①	(例) 音の伝わる速さは、光の速さに比べて、遅いから。
	3	(4) ②	エ
	3	③	ウ

備考欄	配点	第二問	
	16		
	3	1	惑星
	3	2	ア
	3	3	イ
	3	4 (1)	ア
	4	(2)	ウ

備考欄	配点	第三問	
	16		
	3	1	アルカリ性
	3	2	H ₂ O
	3	3	ア
	3	4	(例) 硝酸カリウムの溶解度が小さくなり、とけきれなくなった分が出てくるから。
	4	5	4.5 [g]

備考欄	配点	第四問	
	16		
	3	1	ウ
	3	2	エ
	3	(1)	ウ
	4	3 (2)	(例) 遺伝子の組み合わせがaaであるめしべの一部が、遺伝子の組み合わせを変えずに成長し、果肉になったから。
	3	4	イ

備考欄	配点	第五問	
	16		
	3	1	①(ア) ②(エ)
	3	2	0.05 [A]
導線をT字に接続する箇所の「●」がなくても正答とする。	3	(1)	
	3	(2)	150 [J]
	4	(3)	$\left[\frac{\text{実験IIで回路に電流を流す時間}}{\text{図4の回路に電流を流す時間}} \right] = 25 : 4$

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

1 出題のねらいと内容

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識及びこれらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用する技能並びに情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりするために必要な思考力、判断力、表現力等を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、絵を見ながら英語を聞いて内容を理解する力、会話の流れに沿って適切に応答する力、会話聞いて内容を理解し質問に適切に応答する力及び短い英語を聞いて場面を捉え質問に対して即興で適切に応答する力をみようとした。

第二問では、短い会話を通して、基本的な文法・語法に関する知識と語彙力、基本的な

英文を構成する力及びイベントについての英語で書かれたチラシから必要な情報を読み取る力をみようとした。

第三問では、中学生が将棋愛好会での経験から学んだことについて話した英文を素材とし、英文の内容を正確に読み取り、概要を的確に捉える力をみようとした。

第四問では、外国人が日本を観光した経験について述べた3つの英文を素材とし、必要な情報や概要、要点を的確に捉えながら、書き手が伝えようとする内容を読み取る力をみようとした。

第五問では、ALTが生徒にランドセルの使用についての意見を問う英文を素材とし、自分の考えやその理由を相手に伝えるように英語で適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

<第一問>「聞くこと」に関する問題

英語での発話を聞き、状況に合った適切な応答することに課題

問題2 1番 会話の流れに沿って適切に応答することができるかをみる問題。正答率は56.3%にとどまった。How about...?が提案するとき用いる表現だと理解できていないと推察される。やり取りの場面で使われる表現については、その応答も含めて、スモール・トークや実際の場面を想定した言語活動の中で繰り返し使いながら習得させたい。

問題4 助言を求める質問に対して即興で適切に応答することができるかをみる問題。得点率は41.4%にとどまった。自分が置かれた状況を捉えられなかったものや、助言をするときに用いるshouldなどの表現を適切に使うこ

とができなかったものが多かった。目的や場面、状況を明確にした言語活動を通して、話し手の意図を正しく理解し、適切に応答する力を伸ばさせたい。

<第二問> コミュニケーションを支える文法・語法及び「読むこと」に関する問題

資料から情報を探し出すことはできるが、基本的な文法に関する知識の定着に課題

1 (1) 動詞の時制に関する問題。正答は過去形gaveであった。誤答のうち、過去分詞givenを選択したものが、現在形givesを選択したものよりも多かった。過去形を使う場面と判断できたが、givenを過去形だと誤って認識していたものと推察される。基本的な文法事項については、コミュニケーションの中

で繰り返し使用させながら定着を図りたい。
また、生徒が使用した表現に含まれる誤りについては、よく見られるものを取り上げて全体で共有するなど、生徒の気づきを促す指導を丁寧に行いたい。

- 3 資料から必要な情報を読み取ることができるかをみる問題。(1)は正答率が90.3%と第二問で最も高かった。簡単な表現が用いられている資料から、必要な情報を探し出すことができていると考えられる。

<第三問>「読むこと（日常的な話題）」に関する問題

英文全体の構成を把握することに課題

- 1 代名詞の指示内容を正確に把握することができるかをみる問題。正答率は65.3%にとどまり、誤答の68.8%が、代名詞から最も近いthe local community centerを選んでいった。指示語の指示内容を捉えることは、英文の概要を把握する上で欠かせない。全文を読んだ後の発問で、指示語が含まれている文を取り上げ、指示内容を正しく捉えているか確認するなどして、指示語の指示内容を探りながら読む習慣を身に付けさせたい。
- 5 スピーチの話し手が伝えたいことを正しく理解することができるかをみる問題。無答率が36.5%と全問題で最も高く、正答率も13.5%にとどまった。英文全体の構成を把握できず、話し手が伝えたいことがどこに書かれているか捉えられなかったと推察される。キーワードを使って英文の内容を口頭で要約し、それを他の生徒と共有する活動を取り入れるなどして、英文の要旨を的確に把握する力を伸ばしたい。

<第四問>「読むこと（社会的な話題）」に関する問題

情報を整理して英文の要点を的確に捉えることに課題

- 2 英文中の表現が指し示す具体的な内容を正確に把握することができるかをみる問題。英文に含まれる複数の情報を整理する必要があった。無答を除く誤答の70.5%が、必要な情報の大まかな所在について見当をつけていたにもかかわらず、盛り込むべき情報に不足があった。英文の内容を5W1Hで整理するなどして、情報を過不足なく読み取れるようにする指導の工夫が望まれる。
- 4 (2) 英文の要点を的確に捉えることができるかをみる問題。正答率は24.8%にとどまった。a・b層の誤答では、情報の所在は把握しているものの、動詞remindの語法に関する誤りを含むものが最も多く、c層では、66.7%が情報の所在を誤って捉えていた。理由や逆接など、話の流れを示す語句を手がかりにして読む学習を積み重ね、英文の論理展開を捉えながら要点を把握できるようにしたい。

<第五問>「書くこと」に関する問題

自分の考えが伝わるように、論理的な英文を書くことに課題


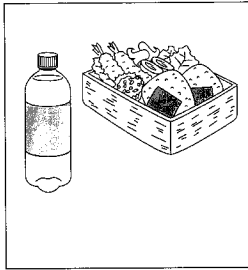
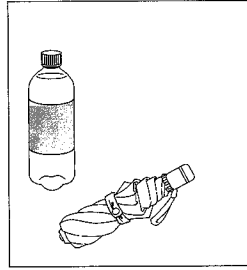
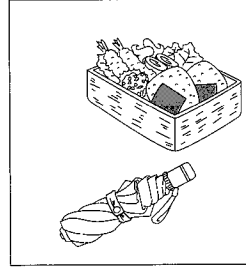
社会的な話題について、自分の考えやその理由を3文以上の英語で適切に表現することができるかをみる問題。昨年度の第五問(2)よりも無答率が下がり、意欲的に解答しようとする姿勢がうかがえた。一方、得点率は37.9%にとどまり、a層では昨年度より17.6ポイント下がった。複数の文で表現した内容が論理的につながっていないため減点されたものが多かった。書いた英文を互いに読み合い、考えと理由が論理的につながっているか確認し合うなど、説得力のある英文を書く力を育む指導の充実が望まれる。

問題				正答率 →	← 無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135~111点 b:110~88点 c:87~51点)	
第一問	問題1	1番	多肢選択 リスニング 内容把握	96.0%	0.0%	96.0%	a:100.0% b:98.6% c:89.9%	
		2番	多肢選択 リスニング 内容把握	72.5%	0.0%	72.5%	a:88.9% b:74.5% c:56.5%	
	問題2	1番	多肢選択 リスニング 内容把握	56.3%	0.3%	56.3%	a:81.2% b:58.6% c:32.6%	
		2番	多肢選択 リスニング 内容把握	69.5%	0.3%	69.5%	a:93.2% b:75.2% c:43.5%	
	問題3	1番	多肢選択 リスニング 内容把握	88.3%	0.0%	88.3%	a:98.3% b:94.5% c:73.2%	
		2番	多肢選択 リスニング 内容把握	52.0%	0.0%	52.0%	a:67.5% b:55.2% c:35.5%	
		3番	多肢選択 リスニング 内容把握	56.8%	0.0%	56.8%	a:82.9% b:58.6% c:32.6%	
	問題4	英文記述 リスニング 応答文	25.5%	23.5%	41.4%	a:76.3% b:45.7% c:7.4%		
	第二問	1	(1)	多肢選択 文法	54.0%	0.0%	54.0%	a:82.1% b:51.0% c:33.3%
			(2)	多肢選択 文法	53.0%	0.0%	53.0%	a:78.6% b:46.9% c:37.7%
(3)			多肢選択 文法	69.0%	0.3%	69.0%	a:94.0% b:76.6% c:39.9%	
2		(1)	語順整理 文法	42.5%	0.0%	42.8%	a:76.9% b:44.5% c:12.0%	
		(2)	語順整理 文法	24.8%	0.3%	24.8%	a:59.8% b:19.3% c:0.7%	
3		(1)	多肢選択 情報検索	90.3%	0.3%	90.3%	a:98.3% b:96.6% c:76.8%	
		(2)	多肢選択 情報検索	60.5%	0.3%	60.5%	a:88.0% b:64.1% c:33.3%	
第三問		1	多肢選択 内容理解	65.3%	0.3%	65.3%	a:91.5% b:64.8% c:43.5%	
	2	英文記述 内容理解	23.3%	18.3%	35.1%	a:72.9% b:34.5% c:3.8%		
	3	和文論述 内容理解	22.0%	24.8%	35.4%	a:71.6% b:32.2% c:8.2%		
	4	英文整序 本文の 要旨	41.0%	1.5%	41.0%	a:83.8% b:36.6% c:9.4%		
	5	語記述 本文の 要旨	13.5%	36.5%	13.9%	a:36.5% b:7.4% c:1.5%		
第四問	1	多肢選択 内容理解	70.0%	0.0%	70.0%	a:94.0% b:76.6% c:42.8%		
	2	和文論述 内容理解	19.0%	17.3%	42.4%	a:71.8% b:46.4% c:13.4%		
	3	英文記述 内容理解	32.8%	22.5%	37.8%	a:76.6% b:36.6% c:6.0%		
	4	(1)	英文記述 内容理解	41.8%	21.3%	54.6%	a:86.5% b:57.9% c:23.9%	
		(2)	英文記述 内容理解	24.8%	27.0%	39.0%	a:73.7% b:40.2% c:8.3%	
	5	(1)	多肢選択 本文の 要旨	32.3%	0.5%	32.3%	a:57.3% b:27.6% c:15.9%	
		(2)	多肢選択 本文の 要旨	54.5%	0.5%	54.5%	a:88.9% b:47.6% c:32.6%	
		(3)	多肢選択 本文の 要旨	47.3%	1.5%	47.3%	a:74.4% b:45.5% c:26.1%	
		(4)	多肢選択 本文の 要旨	52.3%	2.3%	52.3%	a:77.8% b:49.7% c:33.3%	
	第五問	英文記述 英作文	3.8%	17.5%	37.9%	a:59.6% b:42.9% c:14.1%		
計						50.1%	a:77.2% b:50.8% c:26.3%	

令和 6 年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題
英語

第一問 (放送によるテスト) 次の問題1から問題4に答えなさい。

問題1 英語を聞いて、その内容を最も適切に表しているものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。

	ア	イ	ウ	エ																																																								
1 番																																																												
2 番	<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">3:00</td><td rowspan="2" style="text-align: center;">↑ ↓</td><td style="text-align: center;">読書</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3:30</td><td style="text-align: center;">ピアノ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4:00</td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4:30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">5:00</td><td></td><td></td></tr> </table>	3:00	↑ ↓	読書	3:30	ピアノ	4:00			4:30			5:00			<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">3:00</td><td rowspan="2" style="text-align: center;">↑ ↓</td><td style="text-align: center;">読書</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3:30</td><td style="text-align: center;">ピアノ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4:00</td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4:30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">5:00</td><td></td><td></td></tr> </table>	3:00	↑ ↓	読書	3:30	ピアノ	4:00			4:30			5:00			<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">3:00</td><td rowspan="2" style="text-align: center;">↑ ↓</td><td style="text-align: center;">読書</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3:30</td><td style="text-align: center;">ピアノ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4:00</td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4:30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">5:00</td><td></td><td></td></tr> </table>	3:00	↑ ↓	読書	3:30	ピアノ	4:00			4:30			5:00			<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">3:00</td><td rowspan="2" style="text-align: center;">↑ ↓</td><td style="text-align: center;">読書</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3:30</td><td style="text-align: center;">ピアノ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4:00</td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4:30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">5:00</td><td></td><td></td></tr> </table>	3:00	↑ ↓	読書	3:30	ピアノ	4:00			4:30			5:00		
3:00	↑ ↓	読書																																																										
3:30		ピアノ																																																										
4:00																																																												
4:30																																																												
5:00																																																												
3:00	↑ ↓	読書																																																										
3:30		ピアノ																																																										
4:00																																																												
4:30																																																												
5:00																																																												
3:00	↑ ↓	読書																																																										
3:30		ピアノ																																																										
4:00																																																												
4:30																																																												
5:00																																																												
3:00	↑ ↓	読書																																																										
3:30		ピアノ																																																										
4:00																																																												
4:30																																																												
5:00																																																												

第一問 (放送によるテスト) は、次のページにつづきます。

問題2 亜美 (Ami) とニック (Nick) が会話をします。二人の会話は、問題用紙に示されている順に進みます。 に入る発言として最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。会話の のところでは、チャイム音が鳴ります。

1番 Ami:
Nick:
Ami:
Nick: (チャイム音)

- ア Sounds good.
- イ It's in my classroom.
- ウ I don't have homework.
- エ Here you are.

2番 Nick:
Ami:
Nick:
Ami: (チャイム音)

- ア Oh, I'm so lucky.
- イ Oh, look at the actor.
- ウ Oh, will you take trains?
- エ Oh, who was the actor?

問題3 裕也 (Yuya) と留学生のエマ (Emma) が会話をします。そのあとで会話について3つの質問をします。それらの質問に対する答えとして最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。

1番 ア Her friend.
イ Her host family.
ウ Yuya and his friend.
エ Yuya and his family.

2番 ア At 5:00 p.m.
イ At 6:00 p.m.
ウ At 8:00 p.m.
エ At 9:30 p.m.

3番 ア He showed Emma how to go to the city zoo.
イ He told Emma about when to visit the city zoo.
ウ He helped Emma meet the staff members at the city zoo.
エ He heard about the city zoo's event from Emma.

問題4 留学生のメグ (Meg) が話をします。メグの質問に対するあなたの答えを、英語で解答用紙に書きなさい。

第一問 (放送によるテスト) は、ここまでです。

第二問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(3)の二人の会話が成立するように、()に入る最も適切なものを、それぞれあとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

(1) *Sana:* David, you have a beautiful guitar. How did you get it?
David: My brother () his old one to me.
ア gives イ gave ウ given エ giving

(2) *Child:* I opened the windows, but it's still hot in this room.
Father: Then, let's close them and turn () the air conditioner.
ア on イ in ウ into エ out

(3) *Oliver:* Are you () for today's math test?
Ren: Yes, I studied a lot this week.
ア late イ interesting ウ ready エ kind

2 次の(1)、(2)の二人の会話が成立するように、()内の語句を正しい順に並べかえ、(1)はア～エ、(2)はア～オの記号で答えなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で示しています。

(1) *Jessie:* How (ア students イ there ウ many エ are) in your class?
Satoru: We have 40 students.

(2) *Kumi:* (ア bought イ the cake ウ was エ me オ you) delicious.
Lucy: I'm glad to hear that.

- 3 次のチラシは、やよい市 (Yayoi City) が開催するイベントについてのものです。あとの(1)、(2)の () に入る最も適切なものを、それぞれア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

[チラシの一部]

English Day for Junior High School Students

Come and enjoy English classes with ALTs in Yayoi City!

DATE:	Sunday, September 17
TIME:	1:00 p.m. to 4:00 p.m.
PLACE:	Yayoi Culture Center

- Each student can join only one class. Choose one from the list below.

Class	Activities
Class A	Playing games and sports
Class B	Learning about foreign cultures
Class C	Making cookies and enjoying tea time
Class D	Making a short video to introduce Yayoi City

- You have to speak in English during the event.
- You need to bring sports clothes for Class A.
- To join the event, send us an e-mail by September 10. (○○○@yayoi-city.jp)

- (1) If students want to try cooking with ALTs, they should join () .
 ア Class A イ Class B ウ Class C エ Class D
- (2) At the event, students () .
 ア will join a class in the afternoon
 イ have to talk with ALTs in Japanese
 ウ will receive an e-mail from ALTs
 エ have to wear their school uniforms

第三問 次の英文は、中学生の佳奈美 (Kanami) が、英語の授業でスピーチをしたときのものです。この英文を読んで、あとの1～5の問いに答えなさい。

Hi, everyone. Today, I'll talk about my favorite place, the local *shogi club. It has members of different ages, from children to elderly people. We meet at the local *community center twice a month. I've been a member of ① it since the fifth *grade in elementary school.

When I started going to the club, 30 members played *shogi* there. Some of them had a lot of knowledge about *shogi* and taught other members how to play it. Thanks to their help, all the members enjoyed the club. That year, a tournament was held to decide the best player in the club. It was my first *shogi* tournament. Though I did my best, I lost in the first game. Then I realized, “I need to practice *shogi* more and learn different skills.” I started to do that after the tournament, and the members supported me. Sometimes elderly members taught me new skills, and sometimes younger members had practice games with me. I became good at *shogi* little by little.

When I was in the sixth grade, I joined the tournament held by the club again. I was so happy to win twice. Many members said to me, “Good job!” and I was glad. However, I lost against Mr. Yamada in the third game. He was an elderly member who often taught me *shogi*. After the game, he said, “Kanami, you have become stronger than before as a result of your efforts. So ② if you continue your efforts, you’ll develop your skills even more and win our next game.” I *gained confidence when I heard that. Then I realized, “I’ve *grown a lot because the members have supported me.” The club helped me connect with various people, and they taught me many things. Age difference wasn’t a big barrier. The club and its members were precious to me.

Now I’m a junior high school student. I’ve started helping younger members practice *shogi* in the club. I want to be a bridge between the members and keep seeing their happy faces there.

<注> **shogi* club 将棋愛好会 *community center 公民館 *grade 学年
*gain(ed) confidence 自信がつく *grown ← grow 成長する

1 下線部①が示す内容として最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| ア the local <i>shogi</i> club | イ the local community center |
| ウ the fifth grade | エ elementary school |

2 次の質問に対する答えを、本文の内容に合うように英語で書きなさい。

What did Kanami start to do after her first *shogi* tournament?

3 下線部②のように山田さん (Mr. Yamada) が思ったのはなぜか、本文の内容から具体的に日本語で書きなさい。

4 次のア～オを佳奈美のスピーチの流れに合うように並べかえ、記号で答えなさい。

- ア Kanami joined a *shogi* tournament for the first time.
- イ Kanami started to support younger members in the *shogi* club.
- ウ Kanami lost in the third game of the tournament held by the *shogi* club.
- エ Kanami started to go to the *shogi* club at the community center.
- オ Kanami won two games in the tournament held by the *shogi* club.

5 次の英文は、佳奈美のスピーチを聞いた生徒が書いたコメントです。本文の内容をふまえて、に入る最も適切なひとつづきの英語4語を、本文中から抜き出して書きなさい。

Thank you for your great speech. You said that your *shogi* club is a wonderful place because you can and learn together with them. I also want to find a good place like your club for myself.

第 四 問 次の英文は、日本を観光したことがある外国人の体験談を紹介するウェブサイトに掲載された、ルーカス (Lucas)、ジャック (Jack)、リー (Lee) の体験談です。これらの英文を読んで、あとの1～5の問いに答えなさい。



I'm interested in traditional Japanese culture, so I decided to visit Kyoto. I tried ① a *calligraphy trial lesson for tourists there, and it became my best memory. At the beginning of the lesson, the teacher taught us what calligraphy is. Next, we practiced writing *kanji* with the *writing brush. After that, we *chose our favorite word and wrote it in *kanji*. I chose the word "light." I love that word because my name means "light." The teacher showed me the *kanji* for it, 光, and I enjoyed writing it with the writing brush. I was happy to experience this lesson.

By trying calligraphy, I became more interested in Japanese culture. I think we can learn more about another country if we have a *chance to experience its culture.



In Japan, I enjoyed visiting not only well-known places, but also areas that were not so famous. It was fun to see the daily lives of local people. Actually, I had ② a little trouble when I visited a small restaurant during my stay. The menu was written in Japanese, and it had no pictures of the dishes. I couldn't choose dishes because I couldn't read Japanese. Then a Japanese man spoke to me in English and helped me choose delicious dishes. We enjoyed eating and talking. He asked me, " ③ tomorrow?" I answered, "I'm going to look around the town." Then he *offered to show me nice places there. The next day, he showed me around the town, and we had a great time.

If you have a good chance to meet local people and communicate with them during your trip, please enjoy it. I'm sure that it'll be a great experience.



I traveled to Japan to go to a town that was in my favorite Japanese anime. I visited several places that were popular among fans of that anime. The best place was a big lake in the town. I went there in the evening and enjoyed watching the beautiful *sunset. It reminded me of my favorite scene in the anime, and I felt happy. However, some tourists were talking *loudly, and they were so *noisy. I was *disappointed because I wanted to enjoy the sunset quietly. Other people who were enjoying the wonderful scene also seemed disappointed. Since then, I've been more careful about my actions as a tourist.

I think we should be careful about what we do during our trips. It's important to respect both the places that we visit and the people who enjoy them. Let's be good tourists!

<注> *calligraphy trial lesson 書道体験レッスン *writing brush 毛筆
*chose ← choose *chance 機会 *offer(ed) to~ ~しようと申し出る
*sunset 夕焼け *loudly 大声で *noisy 騒がしい
*disappointed がっかりした

- 1 下線部①でルーカスが行ったことを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア He wrote his name in English. イ He learned about Kyoto.
ウ He explained what calligraphy is. エ He wrote his favorite word in *kanji*.
- 2 下線部②が示す具体的な内容を、本文中から探して日本語で書きなさい。
- 3 本文中の ③ に入る適切な内容を考えて、英語で書きなさい。
- 4 次の(1)、(2)の質問に対する答えを、本文の内容に合うように英語で書きなさい。
- (1) Which city did Lucas go to when he visited Japan?
(2) Why did Lee feel happy when she watched the beautiful sunset?
- 5 次の英文は、このウェブサイトを見た奈央 (Nao) とソフィア (Sophia) の会話です。本文の内容をふまえて、あとの(1)～(4)の問いに答えなさい。

Nao: I enjoyed reading the stories on the website. These three people experienced something (①) during their trips.

Sophia: That's true. From Lucas's story, I found that we can learn more about other countries by ② .

Nao: Jack's story tells us that ③ can bring us a wonderful experience during our trips.

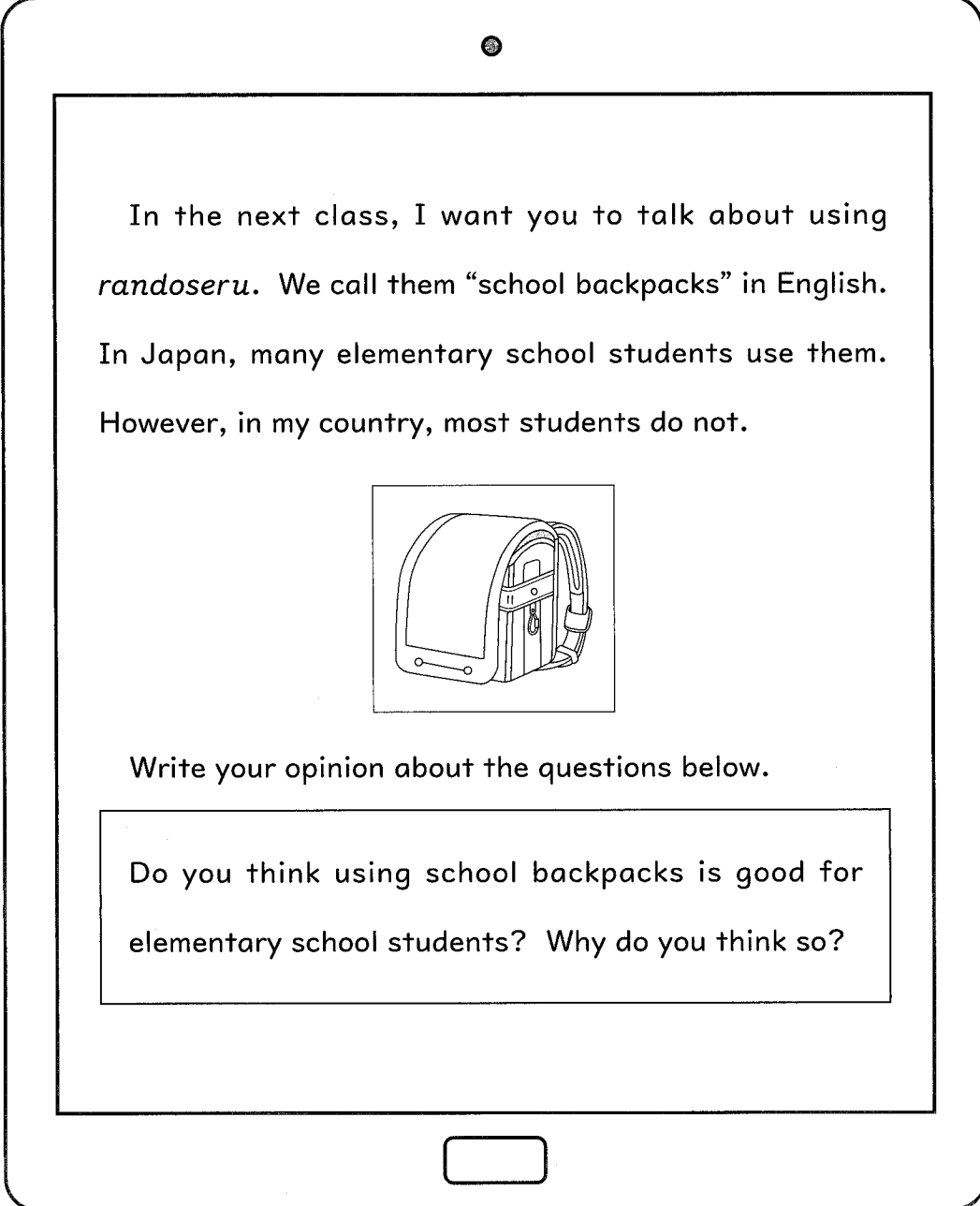
Sophia: That's right. I learned an important thing from Lee. She talks about being a good tourist. She says ④ .

Nao: I like her message. These three stories tell us the things that will be useful when we travel.

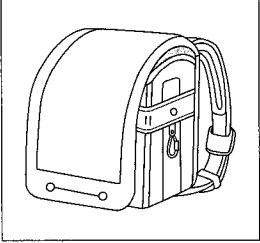
- (1) (①) に入る最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア traditional イ terrible ウ famous エ unique
- (2) ② に入る最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア teaching about our cultures there イ experiencing their cultures
ウ speaking their languages エ visiting many places there
- (3) ③ に入る最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア sharing time with local people イ solving local people's troubles
ウ becoming a local tour guide エ cooking local dishes
- (4) ④ に入る最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア we should visit many foreign countries to be good tourists
イ we should learn about traditional culture of other countries
ウ it's important to think about good behavior as a tourist
エ it's necessary to talk with local people in their language

第五問 英語の授業で、あなたの学習者用端末に、ALTの先生が作成した次のような課題が送られてきました。この英文を読んで、先生の質問に対するあなたの答えを、3文以上の英語で書きなさい。

[学習者用端末の画面]



In the next class, I want you to talk about using *randoseru*. We call them “school backpacks” in English. In Japan, many elementary school students use them. However, in my country, most students do not.



Write your opinion about the questions below.

Do you think using school backpacks is good for elementary school students? Why do you think so?

これから、第一問の放送によるテストを行います。放送を聞いて問題1から問題4に答えなさい。放送中に問題用紙にメモをとってもかまいません。

問題1、英語を聞いて、その内容を最も適切に表しているものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。英語は、それぞれ2回放送されます。では、始めます。

1番 You need to bring lunch and something to drink for the picnic. You don't need an umbrella because it'll be sunny.

(この間約 4 秒)

繰り返します。

You need to bring lunch and something to drink for the picnic. You don't need an umbrella because it'll be sunny.

(この間約 4 秒)

2番 Today, I started reading a book at 3:00 p.m. I read it for one hour, and after that, I played the piano for thirty minutes.

(この間約 4 秒)

繰り返します。

Today, I started reading a book at 3:00 p.m. I read it for one hour, and after that, I played the piano for thirty minutes.

(この間約 7 秒)

次の問題に移ります。ページをめくり、2ページに進んでください。

(この間約 4 秒)

問題2、亜美 (Ami) とニック (Nick) が会話をします。二人の会話は、問題用紙に示されている順に進みます。空欄に入る発言として最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。会話の空欄のところでは、チャイム音 (チャイム音) が鳴ります。会話は、それぞれ2回放送されます。では、始めます。

1番 Ami: I wrote a report in English. Can you check it after school?

Nick: Sure. Where will we meet?

Ami: How about in your classroom?

Nick: (チャイム音)

(この間約 4 秒)

繰り返します。

Ami: I wrote a report in English. Can you check it after school?

Nick: Sure. Where will we meet?

Ami: How about in your classroom?

Nick: (チャイム音)

(この間約 4 秒)

2番 Nick: Hey, Ami. Listen. Something good happened yesterday.
Ami: What was it?
Nick: I saw a famous actor at the station.
Ami: (チャイム音)
(この間約 4 秒)

繰り返します。

Nick: Hey, Ami. Listen. Something good happened yesterday.
Ami: What was it?
Nick: I saw a famous actor at the station.
Ami: (チャイム音)
(この間約 7 秒)

次に問題3に移ります。裕也 (Yuya) と留学生のエマ (Emma) が会話をします。そのあとで会話について3つの質問をします。それらの質問に対する答えとして最も適切なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選んで、その記号を解答用紙に書きなさい。はじめに会話、続いて質問の順で、2回放送されます。では、始めます。

Yuya: Emma, are you looking at the website of the city zoo?
Emma: Yes. Actually, I'm going to go there with my host family next Saturday. Then we'll join an event called "Night Zoo." I'm so excited.
Yuya: Wow. I've been there with my friend before, but I didn't know about that event.
Emma: The zoo is usually open from 9:30 a.m. to 5:00 p.m. But during the event, it's open until 8:00 p.m. So we can enjoy seeing animals at night.
Yuya: That's great. I also want to go to it. Do you know anything else?
Emma: Yes. Visitors can join a tour. In the tour, the staff members guide them around the zoo and talk about how animals live at night.
Yuya: How nice! I want to hear stories from them. I'll tell my family about the event. Maybe I can go.
Emma: I hope you can go. The tour starts at 6:00 p.m.
Yuya: All right. Thanks, Emma.

続いて質問に移ります。

- 1番 Who will go to the city zoo with Emma?
(この間約 4 秒)
- 2番 What time does the city zoo close when "Night Zoo" is held?
(この間約 4 秒)
- 3番 Which is true about Yuya?
(この間約 7 秒)

会話を繰り返します。

Yuya: Emma, are you looking at the website of the city zoo?
Emma: Yes. Actually, I'm going to go there with my host family next Saturday. Then we'll join an event called "Night Zoo." I'm so excited.
Yuya: Wow. I've been there with my friend before, but I didn't know about that event.
Emma: The zoo is usually open from 9:30 a.m. to 5:00 p.m. But during the event, it's open until 8:00 p.m. So we can enjoy seeing animals at night.
Yuya: That's great. I also want to go to it. Do you know anything else?
Emma: Yes. Visitors can join a tour. In the tour, the staff members guide them around the zoo and talk about how animals live at night.
Yuya: How nice! I want to hear stories from them. I'll tell my family about the event. Maybe I can go.
Emma: I hope you can go. The tour starts at 6:00 p.m.
Yuya: All right. Thanks, Emma.

続いて質問に移ります。

- 1 番 Who will go to the city zoo with Emma?
(この間約 4 秒)
- 2 番 What time does the city zoo close when "Night Zoo" is held?
(この間約 4 秒)
- 3 番 Which is true about Yuya?
(この間約 9 秒)

次に問題4に移ります。留学生のメグ (Meg) が話をします。メグの質問に対するあなたの答えを、英語で解答用紙に書きなさい。英語を2回放送したあとに、答えを記入する時間をとります。では、始めます。

I want to get some advice from you. I'm studying Japanese hard, but I can't speak it well. I really want to improve my Japanese. What should I do in my daily life to improve it?

(この間約 4 秒)

繰り返します。

I want to get some advice from you. I'm studying Japanese hard, but I can't speak it well. I really want to improve my Japanese. What should I do in my daily life to improve it?

(この間約 15 秒)

これで放送によるテストを終わります。次の問題に移ってください。

備考欄	配点		第一問		
		25			
	3		問題1	1番	イ
	3			2番	ウ
	3		問題2	1番	ア
	3			2番	エ
	3			1番	イ
	3		問題3	2番	ウ
	3			3番	エ
配点は内容について2点、表記について2点とする。採点基準は各学校で定める。	4		問題4	(例) You should talk a lot with your classmates in Japanese.	

備考欄	配点		第二問		
		20			
	2		1	(1)	イ
	2			(2)	ア
	2			(3)	ウ
	4		2	(1)	ウ → ア → エ → イ
	4			(2)	イ → オ → ア → エ → ウ
	3		3	(1)	ウ
	3			(2)	ア

備考欄	配点		第四問		
		29			
	2		1	エ	
	4		2	(例) メニューが日本語で書かれていて、料理の写真がなかったために、日本語を読めないジャックが料理を選ばなかったこと。	
	3		3	(例) What are you going to do	
	4		4	(1)	(例) He went to Kyoto.
	4			(2)	(例) Because it reminded her of her favorite scene in the anime.
	3		5	(1)	エ
	3			(2)	イ
	3			(3)	ア
	3			(4)	ウ

備考欄	配点		第三問		
		18			
	2		1	ア	
	4		2	(例) She started to practice <i>shogi</i> more and learn different skills.	
	4		3	(例) 佳奈美が努力をしたことによって、以前より強くなったと思ったから。	
	4		4	エ → ア → オ → ウ → イ	
	4		5	connect with various people	

備考欄	配点		第五問	
		8		
配点は内容について5点、表記について3点とする。採点基準は各学校で定める。	8		(例) Yes, I do. School backpacks are very strong, so they can be used for a long time. Other types of bags are not as strong as school backpacks.	

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

1 出題のねらいと内容

言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能並びに話すこと・聞くこと、書くこと及び読むことに必要な思考力、判断力、表現力等、国語で正確に理解し適切に表現する能力を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、基礎的な漢字を読む力や書く力、文意に合う熟語を判断して書く力、行書の特徴についての知識をみようとした。

第二問では、体育委員会で作成するアンケートについての話し合いなどを素材とし、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方についての知識及び技能、話し合いにおける発言の仕方など、話し合う力をみようとした。

第三問では、中学生の主人公が、力士の髪を結い整える床山との関わりを通して、過去の自分を振り返り、将来に向かって志を立てる場面を描いた文章を素材とし、文章の内容や

展開、表現について、叙述を基に的確に捉える力や適切に表現する力をみようとした。

第四問では、絵画を通して人間のものの見方に迫り、芸術の感動の仕組みを解き明かしていく文章を素材とし、書き手のものの見方や考え方について、叙述を基に的確に捉える力や適切に表現する力をみようとした。

第五問では、春と結び付きの強い鶯を詠んだ二つの和歌を主な素材とし、古典に関する基礎的な知識を基に、現代語訳や語注などを手がかりにして、古人のものの見方や考え方を的確に捉える力をみようとした。

第六問では、示されたグラフから読み取ったことと、その読み取ったことに対する自分の考えを書くことによって、豊かに発想する力及び自分の考えを適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

<第一問> 知識及び技能

漢字の理解や熟語の使い分けに課題

問二 文脈に即して正しい熟語を書くことができるかをみる問題。正答率は32.0%で、第一問で最も低かった。文中の熟語のうち、「完結」が不適切であると判断できたものの、「簡結」とした誤答が多く見られた。辞書を用いて、同音異義語や多義的な意味を表す語句の理解を深めさせるとともに、文や文章の中で実際に書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣を養いたい。

<第二問> 知識及び技能並びに思考力、判断力、表現力等「話すこと・聞くこと」

話し合いにおける司会の役割を的確に把握することに課題

問二 情報の扱い方についての知識が定着しているかをみる問題。正答率は78.8%であった。話し合いの中で用いられている引用の仕方や出典の示し方について適切に判断できていたといえる。

問六 話し合いの展開を捉え、司会の役割を把握できるかをみる問題。得点率は35.6%であった。話し合いの目的を踏まえ、話し合いがどのように展開しているかを捉えられていなかったといえる。話し合いの学習では、話し合いを振り返り、目的に沿って話し合いを進められたかを確認する場面を大切にしたい。

＜第三問＞思考力、判断力、表現力等「読むこと」文学的な文章

場面の展開や登場人物の心情の変化などを、描写を基に捉え、表現することに課題

問一 登場人物の相互関係を、描写を基に的確に捉えることができるかをみる問題。正答率は78.8%であったが、a・b層とc層の差が大きく、c層では、登場人物に関する情報を整理することができていなかったといえる。指導に当たっては、描写に基づいて捉えた登場人物の設定などを確認し合う活動を通して、人物の相互関係を把握できるようにしたい。

問五 描写に基づいて主人公の心情の変化を捉え、適切に表現することができるかをみる問題。得点率は23.2%であった。根拠となる描写には着目できていたものの、登場人物の心情を適切に表現できていない解答が目立った。登場人物の心情が描かれた場面を取り上げ、描写を基に捉えたことを伝え合うことで、生徒の考えを広げたり深めたりさせたい。

＜第四問＞思考力、判断力、表現力等「読むこと」説明的な文章

文章の構成や論理の展開を把握し、要旨を捉え、表現することに課題

問四 文脈に即して筆者のものの見方を捉え、適切に表現することができるかをみる問題。得点率は25.3%であった。傍線の直前部分にだけ着目した解答が多かったことから、文章全体から要旨を捉えた上で、表現することができていなかったといえる。キーワードや接続語に着目して主張と例示との関係を把握させるなど、文章の構成や論理の展開を把握して要旨を捉え、表現する力を伸長させたい。

問五 文章の構成や展開を踏まえ、筆者の論の進め方を把握できるかをみる問題。正答率

は52.8%であった。文章中の中心的部分なのか付加的部分なのかを判断したり、全体と部分との関係を捉えたりすることができていなかったといえる。段落ごとの内容を捉えるとともに、段落相互の関係を押さえながら、文章の構造を把握する活動を一層充実させたい。

＜第五問＞知識及び技能「我が国の言語文化」

二つの和歌に描かれている情報を整理しながら、古人のものの見方や考え方を捉えることに課題

問四 叙述に基づいて【Ⅱ】の和歌の内容を的確に捉え、適切に表現することができるかをみる問題。得点率は18.4%であった。二つの和歌に描かれている事柄を整理して、【Ⅱ】の和歌から古人のものの見方や考え方を捉えることができていなかったといえる。和歌について解説した文章や資料を活用するなど、和歌に描かれた情景や心情を豊かに想像できるよう、指導を工夫したい。

＜第六問＞思考力、判断力、表現力等「書くこと」

根拠の適切さを考えて書くことに課題

グラフから情報を読み取り、読み取ったことに対する自分の考えを適切に表現することができるかをみる問題。得点率は59.6%であった。グラフから読み取ったことに対する、自分の考えが述べられていたが、読み取ったことの説明が正確でなかったり、自分の考えを支える根拠が不十分であったりする解答も見られた。多様な考えができる事柄について意見を書く学習では、自分の考えとそれを支える根拠との関係を他者と確かめ合う活動を取り入れ、書く力の一層の伸長を図りたい。

問題				正答率 →	← 無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135~111点 b:110~88点 c:87~51点)
第一問	問一	①	記述 知・技漢字	99.3%	0.0%	99.3%	a: 99.2% b: 99.3% c: 99.3%
		②	記述 知・技漢字	45.3%	2.0%	45.3%	a: 74.4% b: 44.8% c: 21.0%
		③	記述 知・技漢字	97.0%	1.0%	97.0%	a: 100.0% b: 99.3% c: 92.0%
		④	記述 知・技漢字	67.0%	17.3%	67.0%	a: 90.6% b: 71.7% c: 42.0%
		⑤	記述 知・技漢字	55.0%	13.8%	55.0%	a: 80.3% b: 60.7% c: 27.5%
		⑥	記述 知・技漢字	37.5%	21.0%	37.5%	a: 62.4% b: 34.5% c: 19.6%
	問二	記述 知・技語彙	32.0%	17.8%	32.0%	a: 59.8% b: 30.3% c: 10.1%	
問三	多肢選択 知・技書写	42.0%	0.0%	42.0%	a: 59.0% b: 39.3% c: 30.4%		
第二問	問一	多肢選択 話・聞進め方	89.8%	0.3%	89.8%	a: 95.7% b: 95.2% c: 79.0%	
	問二	多肢選択 知・技情報整理	78.8%	0.3%	78.8%	a: 94.0% b: 83.5% c: 60.9%	
	問三	記述 知・技言葉特徴	77.5%	1.8%	83.5%	a: 94.0% b: 84.4% c: 73.7%	
	問四	多肢選択 話・聞進め方	81.3%	0.3%	81.3%	a: 95.7% b: 80.7% c: 69.6%	
	問五	多肢選択 話・聞進め方	96.3%	0.3%	96.3%	a: 100.0% b: 97.9% c: 91.3%	
	問六	記述 話・聞進め方	26.5%	14.5%	35.6%	a: 56.4% b: 39.1% c: 14.3%	
第三問	問一	多肢選択 読む構造内容	78.8%	0.8%	78.8%	a: 91.5% b: 84.8% c: 61.6%	
	問二	(一) 抜き出し 読む精査解釈	79.8%	4.0%	82.6%	a: 93.5% b: 89.7% c: 65.9%	
		(二) 記述 読む精査解釈	20.8%	16.8%	42.0%	a: 62.8% b: 44.5% c: 21.7%	
	問三	多肢選択 読む構造内容	80.5%	0.8%	80.5%	a: 94.0% b: 83.5% c: 65.9%	
	問四	抜き出し 読む精査解釈	65.5%	5.3%	79.8%	a: 87.8% b: 81.8% c: 71.0%	
問五	記述 読む精査解釈	2.5%	21.3%	23.2%	a: 34.4% b: 24.3% c: 12.5%		
第四問	問一	(一) 多肢選択 読む精査解釈	81.3%	1.5%	81.3%	a: 94.0% b: 80.7% c: 71.0%	
		(二) 抜き出し 読む精査解釈	78.3%	6.0%	80.5%	a: 92.3% b: 81.8% c: 69.1%	
	問二	記述 読む精査解釈	6.5%	22.3%	26.4%	a: 46.2% b: 24.5% c: 11.6%	
	問三	抜き出し 読む精査解釈	66.8%	14.8%	68.1%	a: 90.0% b: 74.3% c: 43.0%	
	問四	記述 読む精査解釈	2.0%	37.8%	25.3%	a: 41.7% b: 26.1% c: 10.4%	
問五	多肢選択 読む構造内容	52.8%	5.8%	52.8%	a: 65.8% b: 55.2% c: 39.1%		
第五問	問一	記述 知・技言語文化	89.5%	4.0%	89.5%	a: 99.2% b: 94.5% c: 76.1%	
	問二	多肢選択 知・技言語文化	67.3%	2.3%	67.3%	a: 89.7% b: 68.3% c: 47.1%	
	問三	多肢選択 知・技言語文化	79.3%	3.0%	79.3%	a: 89.7% b: 82.1% c: 67.4%	
	問四	記述 知・技言語文化	6.8%	25.5%	18.4%	a: 30.6% b: 18.3% c: 8.2%	
第六問	論述 書く意見文	1.0%	1.8%	59.6%	a: 69.3% b: 62.2% c: 48.4%		
計						59.0%	a: 73.0% b: 61.3% c: 45.1%

備考欄						20	配点
5	3	3	4	3	2		
問五	問四	問三	問二 (二) (一)		問一	第三問	
よく知らない自分にも誠実に向き合う床芝への憧れが強まったから。 (四十八字)	いくらなんでも先走りすぎだ	ア	(例) 男が人の髪を結うことは、変な目で見られ、からかわれることだ (二十九字)		腕も氣立て	ウ	

備考欄						14	配点
3	2	2	3	2	2		
問六	問五	問四	問三	問二	問一	第二問	
(例) それでしまった話題を元に戻す (十四字)	エ	イ	(例) 取り組むのであれば (九字)	ウ	ア		

備考欄 漢字は、点圏に過不足がなく、字形の正しさを損なっていないければ正答とする。								16	配点
2	2	2	2	2	2	2	2		
問三	問二	問一						第一問	
エ	簡潔	⑥ 仲裁 チュウサイ	⑤ 綿密 メンミツ	④ 垂 タ (らす)	③ りん 輪郭	② 揺す (えそ)	① つつ 包 (む)		

採点の基準等
20 配点

第六問

△採点の基準▽
1 内容及び表現について
グラフから読み取ったことと、それに対する自分の考えが、適切に表現されているか。 15点
2 表記について 5点
(1) 誤字や脱字はないか。
(2) 仮名遣いや送り仮名は正しいか。
(3) 漢字、ひらがな、カタカナの使い分けは適切であるか。
(4) 句読点やその他の符号の使い方は適切であるか。
(5) 原稿用紙の使い方は正しいか。

△留意事項▽
採点は、前記の△採点の基準▽1、2によることとするが、次の点についても留意すること。
(1) 字数が百六十字に満たないものは、総点を10点以下とし、二百字を超えたものについては、その程度に応じて適宜減点する。
(2) 表記の誤りについては、前記の△採点の基準▽の2によって適宜減点する。

備考欄				10	配点
4	2	2	2		
問四	問三	問二	問一	第五問	
ことをやめた (二十三字)	エ	イ	たまいける		

備考欄						20	配点
3	5	3	4	3	2		
問五	問四	問三	問二	問一 (二) (一)		第四問	
ウ	(例) 自分 の脳にも未知の可能性があり、芸術家と同じように、世界をとらえることができるという ことを知った驚き。 (五十一字)	五感で感じる世界	(例) 目の網膜に映ったままの、世界の光景を光と色の点に分解した (二十八字)	画風が似ている		エ	

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

満点 100 点

第五問 次の【I】の和歌、【II】の物語と、それらについての【対話】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【I】

冬ごもり春さり来ればあしひきの山にも野にもつぐひす鳴くも
(春が来ると)
(山にも野にもうぐいすが鳴くよ)

〔万葉集〕による

【II】

先帝の御時、卯月のついたちの日、
(先帝のご時世に)
(鳴かないことを歌にお詠ませになられた時)
 春はただ昨日ばかりを鶯のかぎれることも鳴かぬ今日かな
(春はつい昨日終わつたばかりなのに、うぐいすが決めているかのように)
 となむ詠みたりける。
(詠んだのであった)

〔大和物語〕による

*をつけた語句のへ注

卯月のついたちの日——旧暦四月一日。この日から夏がはじまる。

【対話】

〈Xさん〉 【I】の和歌の「冬ごもり」は「春」、「あしひきの」は「山」という特定の語を導き出す **A** だね。
 〈Yさん〉 うん。鶯の鳴く声によって **B** を詠んでいるよ。
 〈Xさん〉 【II】の物語の中の和歌は、「かぎれること」という表現を用いて、鶯が **C** と捉えているところが面白いね。
 〈Yさん〉 昔の人々にとって、春と鶯は強く結びついていたんだね。

問一 本文中の「給ひける」の読み方を、歴史的仮名遣いは現代仮名遣いに改めて、全てひらがなで答えなさい。

問二 【対話】の **A** にあてはまる表現技法として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 擬人法 イ 枕詞 ウ 体言止め エ 掛詞

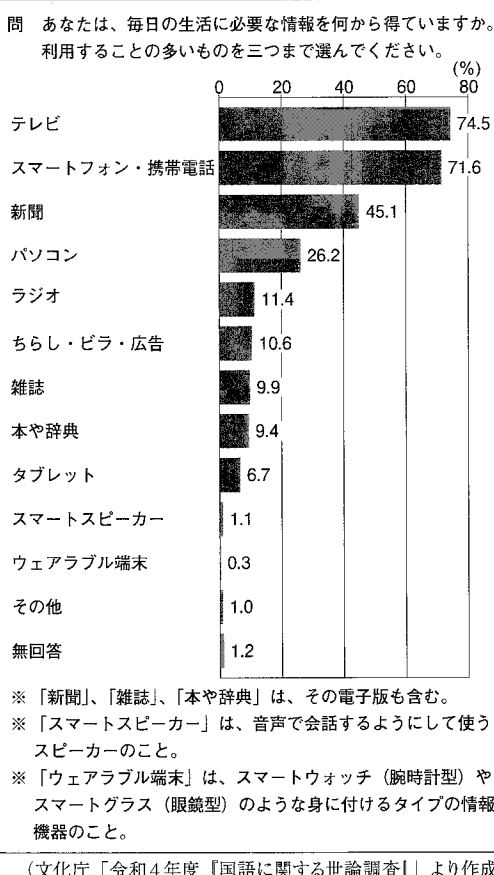
問三 【対話】の **B** にあてはまる内容として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 冬ごもりならではの楽しみ イ 山野から去りゆく春の風物
 ウ 冬ごもり中の自然の厳しさ エ 山野にやって来る春の気配

問四 【対話】の **C** にあてはまる適切な表現を考えて、二十五字以内で答えなさい。

第六問

次のグラフは、全国の十六歳以上の人を対象に行つた世論調査の、「毎日の生活に必要な情報を何から得ているか」という質問に対する結果です。あなたがこのグラフから読み取ったことと、その読み取ったことに対するあなたの考えを、百六十字～二百字で書きなさい。



係にお
関して
の載ん
権掲せ
作より
著より

(布施 英利「はじまりはダ・ヴィンチから 50人の美術家を解剖する」による)

*をつけた語句のへ注▽

セザンヌとモネ——どちらも十九世紀後半に活躍したフランスの画家。
筆のタッチ——ここでは絵画の筆づかいのこと。
カンヴァス——油絵用の画布。キャンバス。

問一 本文中に「^①絵画は、いわば、脳の『実験レポート』なのだ。」とありますが、次の文は、このことについて述べたものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

筆者は、絵画から、**A** がわかれると考えたため、絵画を「脳の『実験レポート』」という言葉で表現した。そして、そのことを説明するために、同時代に活躍し **B** 画家の、モネとセザンヌを取り上げている。

(一) **A** にあてはまる表現として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 画家がどのような苦悩を持っていたか
 - イ 人間の目に見える美しさの限界
 - ウ 先人の表現技法や当時の流行
 - エ 画家が世界をどのようにとらえているか
- (二) **B** にあてはまる言葉を、本文中から七字でそのまま抜き出して答えなさい。

問二 本文中に「^②ひたすら『見える』世界」とありますが、次の文は、「モネ」の絵について、筆者の考えを説明したものです。**□** にあてはまる適切な表現を考えて、**三十字以内**で答えなさい。

モネは、脳や目の生理学的な働きなど知らなかったと思われるが、**□** ように見える絵を描いている。

問三 本文中に「^③目ではない、もつと脳の全体で感じている世界を描こうとした」とありますが、次の文は、「セザンヌ」の描き方について、筆者の考えを説明したものです。**□** にあてはまる言葉を、本文中から**八字**でそのまま抜き出して答えなさい。

セザンヌは、画家の直感によって、「視覚」だけではとらえられない**□** を、視覚表現としての「絵」にまとめ上げている。

問四 本文中に「^④芸術の感動というものの正体」とありますが、ここで筆者が述べる「芸術の感動というものの正体」とは、どのようなものですか。**五十五字以内**で説明しなさい。

問五 本文の論の進め方について説明したものととして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 絵画についての問題を提起したあと、主張の根拠として著名な芸術家の言葉を参照し、持論を展開している。
- イ 絵画についての話題を提示し、主張を支える具体例を挙げ、科学的な知見を援用して美術史を整理している。
- ウ 絵画についての自分の見解を述べ、例を対比的に提示しながら、問いかけを積み重ねて主張をまとめている。
- エ 絵画についての仮説を立て、絵画の観察と自身の経験を照らし合わせながら、仮説の有効性を検証している。

著作権の関係により
掲載しておりません。

著作権の関係により
掲載しておりません。

関係にお
載して
権の
作掲
著より
ませ
ん。

(鈴木村)

ふみ「大銀杏がひらくまで」による)

*をつけた語句の注

床山——力士の髪を結い、整える職業の人。
大銀杏——ここでは、力士の髪型の一つ。
矜持——誇り。自負。
踵を返す——引き返す。

問一 本文中に「すみませんでしたと謝ろうとした」とありますが、靖成は、どのようなことに対して「謝ろうとした」のですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 年下にもかかわらず、床山としての床芝の技術を評価したこと。
- イ 付き合いが浅いのに、床芝の性格を真面目で優しいと褒めたこと。
- ウ 二人をよく知らないのに、若関の変化を床芝の影響だと語ったこと。
- エ 見てもいない若関の表情を、昔より穏やかになったと話したこと。

問二 本文中に「ああそっか」とありますが、次の対話は、ここでの靖成の思いについて話し合ったものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

(Xさん) 靖成は、床芝の言葉を聞き、表情を見て、かつて床山の仕事に惹かれたのは、Aと気づいているね。

(Yさん) うん。靖成は、その頃の自分の気持ちを思い出したんだよ。
(Xさん) そうだね。だからこのあとのところで、床芝を前にして、以

前、Bと考え、床山への関心を捨てたことを恥じたんだね。

- (一) A にあてはまる表現を、本文中から十八字でそのまま抜き出して、はじめの五字で答えなさい。
- (二) B にあてはまる適切な表現を考えて、三十字以内で答えなさい。

問三 本文中に「靖成は相槌を打つのも忘れて、その言葉に聞き入っていた。」とありますが、ここでの靖成の描かれ方を説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 床芝の仕事に対する思いを一心に聞く靖成が、三人称の視点から描かれている。
- イ 床芝の相撲への深い愛情にあぜんとする靖成が、三人称の視点から描かれている。
- ウ 力士に向き合う床芝の苦しさにも共感する靖成が、床芝の視点から描かれている。
- エ 人生の先輩としての床芝の助言に反発する靖成が、床芝の視点から描かれている。

問四 本文中に「靖成自身も驚いていた。」とありますが、次の文は、このときの靖成の心情を説明したものです。 にあてはまる言葉を、本文中から十三字でそのまま抜き出して答えなさい。

仕事に戻ろうとした床芝に対してとっさに出た「床山になるにはどうしたらいいか」という自分の発言は、 と感じ、自分自身でも驚いているということ。

問五 本文中に「この人と一緒に働きたい」とありますが、靖成がそのように決意した理由を、五十字以内で説明しなさい。

著作権の関係により
掲載しておりません。

著作権の関係により
掲載しておりません。

問一 【話し合いの一部】の中の「アンケート用紙の下書き」を見直して、「^①で始まるAさんの発言について説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。」

- ア 話し合いのねらいを述べたうえで、話し合う際の話題を提示している。
- イ 自分の立場を明らかにし、適切な根拠を挙げながら意見を述べている。
- ウ 話し合いの中で、分からないことを質問したり確認したりしている。
- エ 話の構成や順序を工夫しながら、問題点を分かりやすく指摘している。

問二 【話し合いの一部】の中の ②、③ にあてはまる言葉の組み合わせとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ② 改変 | ③ 訂正
- イ ② 出典 | ③ 引用
- ウ ② 引用 | ③ 出典
- エ ② 訂正 | ③ 改変

問三 【アンケート用紙の下書き】の中の~~~~~線部「取り組むんだったら」を、適切な書き言葉に改めて、十字以内で答えなさい。

問四 【話し合いの一部】の中に「^④回数」など別の言葉に改めることで、質問内容が正しく伝わると思うよ。」とありますが、このBさんの発言の意図について説明したものととして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア アンケート対象者の回答意欲を喚起し、企画提案者の熱意を率直に伝えようとしている。
- イ アンケート対象者の語彙力を踏まえることで、生徒全員から正確な回答を得ようとしている。
- ウ アンケート対象者の学習の実態を考慮し、全校生徒の表現力を高めようとしている。
- エ アンケート対象者の問題意識に訴えることで、大事なことを重点的に伝えようとしている。

問五 【話し合いの一部】の中の「^⑤私も、」で始まるCさんの発言について説明したものととして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア このあとの話し合いの論点を提示して、自分の考えと異なる点を指摘し、具体例を挙げて反論している。
- イ 自分の経験を話したり、ほかの人の経験を聞き出したりして、全員のを考えを引き出そうとしている。
- ウ 自分の意見にこだわらず、ほかの人の意見の納得できるところを見つけ、柔軟に意見を変えている。
- エ ほかの人の考えに対して賛同しながらも、工夫できることを加えて、よりよい案を提示している。

問六 【話し合いの一部】の中に「^⑥今の話し合いの話題は質問の形式についてだから、選択肢の表現については、またあとで話し合おう。」とありますが、次の文は、このAさんの発言の意図についてまとめたものです。にあてはまる適切な表現を考えて、十五字以内で答えなさい。

話し合いの展開を捉え、

ことをねらいとして発言している。

第二問 ある中学校の体育委員会では、中学生の体力が低下しているとい

う全国調査の結果が話題となり、委員会が主体となって、昼休みに運動の時間を設けることになりました。そこで、生徒の考えを取り入れた企画とするために、全校生徒を対象にアンケートを実施します。次は、体育委員会で作成中の「アンケート用紙の下書き」と、アンケート係のAさんたち三人が行った【話し合いの一部】です。あとの問いに答えなさい。

【アンケート用紙の下書き】

運動の企画に関するアンケート

体育委員会では、昼休みに10分間の運動の時間を設けたいと考えています。皆さんの考えを取り入れた企画としたいので、次の質問に対して、あてはまるもの1つに○を付けてください。
ご協力をお願いします。

- 質問1 運動の企画に取り組むんだったら、あなたはどのような単位で参加したいですか。
ア 個人 イ グループ ウ クラス
- 質問2 あなたはどれくらいの頻度で運動の企画に取り組みたいですか。
ア 毎日 イ 1日おき ウ 週1回
- 質問3 次の中で、あなたが取り組みたいと思う運動はどれですか。
ア ランニング
イ 縄跳び
ウ ダンス
エ ボール
オ 体力測定コーナー

【話し合いの一部】

① <Aさん> 【アンケート用紙の下書き】を見直して、アンケートがさらによいものになるよう、改善点を挙げていこう。これから、このアンケートの表現と、質問の形式について話し合おう。まず、質問に入る前の文章の表現はどうかな。

<Bさん> このアンケートの目的は伝わるけれど、体育委員会が運動の時間を設けることになった理由も伝えられないかな。

<Cさん> 全国調査の結果の資料をよく読んでみて、その文章の一部を

② したらどうだろう。運動の時間を設けることに説得力を持たせることができるし、アンケートを実施する必要性もいっそう伝わると思うよ。

<Bさん> そうだね。そのときは、資料の③をしっかり示そうね。

<Aさん> なるほど。改善点として取り入れよう。次に、質問や選択肢の表現はどうかな。

<Cさん> 質問1について、この質問には話し言葉のくだけた表現が含まれているから、書き言葉に直した方がいいね。

<Aさん> そうだね。アンケートは多くの人が読むものだから、適切な表現にしたいね。そのほかに気になる点はないかな。

<Bさん> 質問2について、アンケートの対象は全校生徒だから、「頻度」という言葉は一年生には難しいかもしれないね。「回数」など別の言葉に改めることで、質問内容が正しく伝わると思うよ。

<Cさん> なるほど。私は気にならなかったけれど、一年生のことを考えれば、Bさんの意見のとおり言葉を変えた方が正しく伝わらそうだね。

<Aさん> では、次の話題の、質問の形式について話し合おうか。

<Bさん> 質問1と2については、答えやすさや集計のしやすさを考えても選択肢が適切な形式だと思っけれど、質問3については、記述式にして自由な考えを引き出した方がいいと思うよ。

<Aさん> Bさんは、質問3の形式を記述式にした方がいいという意見だけれど、Cさんはどうかな。

<Cさん> 私⑤、自由な考えを引き出すために、記述を取り入れるという考えには賛成だよ。ただし、記述式だと、さまざまな考えを引き出せる反面、記述内容を読み取って整理することが難しくそうだね。選択肢のまま、質問3の選択肢に「その他」を追加して、そこに記述欄を設けるといいのかな。

<Bさん> なるほど、そうだね。あと、質問3の選択肢には、伝わりづらなものや選択肢としてふさわしくないものがあるね。

<Cさん> そうだね。選択肢の「エ」は、この表現だと説明不足に感じると、「オ」は運動とは言えないかな。

<Aさん> 選択肢の表現の適切さも吟味したいけれど、今の話し合いの話題は質問の形式についてだから、選択肢の表現については、またあとで話し合おう。二人の意見を踏まえて、質問3は選択肢と記述式を組み合わせるといっ方向で検討していこうか。

令和6年度
公立高等学校入学者選抜学力検査問題

国語

第一問 次の問いに答えなさい。

問一 次の文の——線部①～⑥のうち、漢字の部分はその読み方をひらがなで書き、カタカナの部分は漢字に改めなさい。

・ 贈り物をきれいに包む。①

・ 屋上に望遠鏡を据える。②

・ 画用紙に顔の輪郭を描く。③

・ 池に釣り糸をたらし。④

・ 打ち合わせをメンミツに行う。⑤

・ 妹たちのけんかのチュウサイに入る。⑥

問二 次の文中には、誤って使われている熟語が一つあります。その熟語を、文意に合う同音の正しい熟語に改めて、漢字で答えなさい。

話し方に留意し、限られた発表時間の中で要点を完結に話す。

問三 次の行書で書かれた漢字について、○で囲んだa、bの部分に表れている行書の特徴の組み合わせとして、最も適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

a-湯

b-茶

- | | | | |
|---|-------|---|-------|
| ア | 点画の変化 | — | 点画の省略 |
| イ | 点画の連続 | — | 点画の省略 |
| ウ | 点画の省略 | — | 筆順の変化 |
| エ | 点画の連続 | — | 筆順の変化 |



この紙の本体は各種パルプ
配合率70%の再生紙を使用